



小倉文庫
イ 16
81





昭和二十六年
六月十一日
受入

| | |
|---|-----|
| 門 | 116 |
| 號 | 81 |
| 卷 | |

懐寶慶初記綱目總目錄

卷之上

| | | |
|-----|--------|-----|
| 第一 | 大敷之石之事 | 二丁 |
| 第二 | 小敷之石之事 | 同 |
| 第三 | 楳之石之事 | 同 |
| 第四 | 回船之石之事 | 同 |
| 第五 | 諸物秤重之事 | 二丁 |
| 第六 | 九く之石之事 | 三丁 |
| 第七 | 八木之石之事 | 同 |
| 第八 | 見一之石之事 | 十二丁 |
| 第九 | 掛く石之事 | 二十丁 |
| 第十 | 割く石之事 | 廿丁 |
| 第十一 | 澤澤賣買之事 | 同 |
| 第十二 | おんえ之事 | 廿二丁 |

| | | |
|-----|------------|-----|
| 十三 | 米賣買お場の割付之事 | 廿三丁 |
| 十四 | 米賣買之事 | 廿五丁 |
| 十五 | 俵中俵賣買之事 | 三十丁 |
| 十六 | 銀賣買之事 | 四丁 |
| 十七 | 金賣買之事 | 四丁 |
| 十八 | 小割之事 | 四丁 |
| 十九 | 信州之事 | 四丁 |
| 二十 | 米賣買之事 | 四丁 |
| 二十一 | 米賣買之事 | 四丁 |
| 二十二 | 絹布賣買之事 | 四丁 |
| 二十三 | 儀務小入之事 | 五丁 |
| 二十四 | 杖形儀務之事 | 同 |
| 二十五 | 橋地付之事 | 五丁 |
| 二十六 | おんえ之事 | 五丁 |

| | | | |
|-----|------------|-----|-----|
| 二十七 | 色見免おれり | 二ヶ条 | 五ヶ丁 |
| 二十八 | 為愛愛の事 | 六ヶ条 | 五ヶ丁 |
| 二十九 | とく垂授の事 | 三ヶ条 | 同 |
| 三十 | 新練換の事 | 十ヶ条 | 六ヶ丁 |
| 三十一 | 系練寸法の事 | | 六ヶ丁 |
| 三十二 | 柘栲系練換の事 | | 六ヶ丁 |
| 三十三 | 車柘栲并大柘の事 | | 六ヶ丁 |
| 三十四 | 長子柘之換并大柘の事 | | 同 |
| 三十五 | 櫛大木法のりれ事 | | 同 |
| 三十六 | もも子立の事 | | 六ヶ丁 |
| 三十七 | 毎く算じ事 | | 六ヶ丁 |
| 三十八 | 百六かんといふ事 | | 同 |
| 三十九 | 油まじり算じ事 | | 同 |
| 四十 | 柘子と算じ事 | | 六ヶ丁 |

卷之中

| | | | |
|----|-----------|--------|-----|
| 一 | 正能形 | 用平法とて事 | 六ヶ丁 |
| 二 | 正能形 | 用平法とて事 | 六ヶ丁 |
| 三 | 正能形 | 用平法とて事 | 六ヶ丁 |
| 四 | 正能形 | 用平法とて事 | 六ヶ丁 |
| 五 | 正能形 | 用平法とて事 | 六ヶ丁 |
| 六 | 恰合形 | 四ヶ条 | 六ヶ丁 |
| 七 | 入子算じ事 | 三ヶ条 | 六ヶ丁 |
| 八 | 人の歳数を知る事 | | 六ヶ丁 |
| 九 | 親之儀形別符の事 | | 六ヶ丁 |
| 十 | る布着ねる是割の事 | | 同 |
| 十一 | 鉄炮素袋の事 | | 六ヶ丁 |
| 十二 | 柘栲割付の事 | 二ヶ条 | 同 |
| 十三 | 屋敷後の事 | 四ヶ条 | 六ヶ丁 |

| | | |
|-----|----------|-----|
| 卒四 | 川除根法りれり | 卒五 |
| 卒五 | 同蛇籠の事 | 卒六 |
| 卒六 | 堤法りれり | 卒七 |
| 卒七 | 同さし接る事 | 卒八 |
| 卒八 | 同さし接る事 | 卒九 |
| 卒九 | 同根垂りれり | 卒十 |
| 卒十 | 同馬踏の事 | 卒十一 |
| 卒十一 | 同能中さし接る事 | 卒十二 |
| 卒十二 | 同能中根垂りれり | 卒十三 |
| 卒十三 | 同能中さし接る事 | 卒十四 |
| 卒十四 | 同能中さし接る事 | 卒十五 |
| 卒十五 | 同能中さし接る事 | 卒十六 |
| 卒十六 | 同能中さし接る事 | 卒十七 |
| 卒十七 | 同能中さし接る事 | |

卷之下

| | | |
|-----|---------|-----|
| 卒八 | 能中さし接る事 | 卒九 |
| 卒九 | 能中さし接る事 | 卒十 |
| 卒十 | 能中さし接る事 | 卒十一 |
| 卒十一 | 能中さし接る事 | 卒十二 |
| 卒十二 | 能中さし接る事 | 卒十三 |
| 卒十三 | 能中さし接る事 | 卒十四 |
| 卒十四 | 能中さし接る事 | 卒十五 |
| 卒十五 | 能中さし接る事 | 卒十六 |
| 卒十六 | 能中さし接る事 | 卒十七 |
| 卒十七 | 能中さし接る事 | 卒十八 |
| 卒十八 | 能中さし接る事 | 卒十九 |
| 卒十九 | 能中さし接る事 | 卒二十 |
| 卒二十 | 能中さし接る事 | |

才之 糶の敷乃名々事

一斛 十斗と云 一斛 十斗と云 一斛 十斗と云

一合 十白と云 一勺 十抄と云 一抄 十撮と云

一撮 十圭と云 一圭 十粟と云 一粟

才曰 田敷と名々の事

一町 但六十百の方あり 一町と云の或る大 本は六十百の寸也 一反 ひりり 三百百 坪今の三百坪 あり

一畝 三十歩と云也 廿歩と云と云也 一步 一坪といふあり 六十百の寸也

一分 長は六寸五分 廣は六寸五分 一厘 長は六寸五分 廣は六寸五分

一毫 長は六寸五分 廣は六寸五分 一線 長は六寸五分 廣は六寸五分

一忽 長は六寸五分 廣は六寸五分 一激 長は六寸五分 廣は六寸五分

一 壹丁 不勾 二 貳示 不小 一竹 二百五十目 百六十目


三 参王 不直 四 肆罪 不非 一丈 尺十と一 丈といふ

五 伍吾 不口 六 陸交 不又 一尺 一寸十と 一尺といふ

七 漆皂 不白 八 捌分 不刀 一斗 二斗と云 あり

九 玖九 不点 十 拾針 不金 一盃 あり 一駄 あり 一艘 あり

牙石 徳和神童の事

金  一寸五分 百七拾六

銀 同 百四拾目

銅 同 九拾六

錫 同 六拾六

玉 同 百貳十目

洞 同 七拾六

鐵 同 六十目

真鍮 同 六拾六

青石 同 三十目

土  同 拾壹目

第六 九九乃數の事

二二ノ四 二二ノ六 二四ノ八

二五ノ十 二六ノ十二 二七ノ十四

二八ノ十六 二九ノ十八 三三ノ九

三四ノ十二 三五ノ十六 三六ノ十八

三七ノ二十一 三八ノ二十四 三九ノ二十七

四四ノ十六 四五ノ二十 四六ノ二十四

四七ノ十八 四八ノ廿二 四九ノ三十六

五五ノ二十五 五六ノ三十 五七ノ三十六

五八ノ四十 五九ノ四十八 六六ノ三十六

六七ノ四十二 六八ノ四十八 六九ノ五十四

七七ノ四十九 七八ノ五十六 七九ノ六十三

八八ノ五十八 八九ノ七十二 九九ノ八十一

第七

八算之部ノ事

二進之

銀拾三万三四百中百七十九
二進之
二万七千八百九十九
二進之

五

八進半

〇二天作五

十

八進半

〇二天作六

百

六進半

〇二天作六

千

六進半

〇二天作五

十

四進半

〇二天作五

百

四進半

〇二天作五

千

二進二十

〇二天作六

万

二進二十

〇二天作六

十

二天作五

〇二天作六

二天作

二天作

二進之

分

二五

〇二天作六

十

二四

〇二天作六

百

二九

〇二天作六

千

二三

〇二天作六

万

二八

〇二天作六

十

二二

〇二天作六

百

二七

〇二天作六

千

一二

〇二天作六

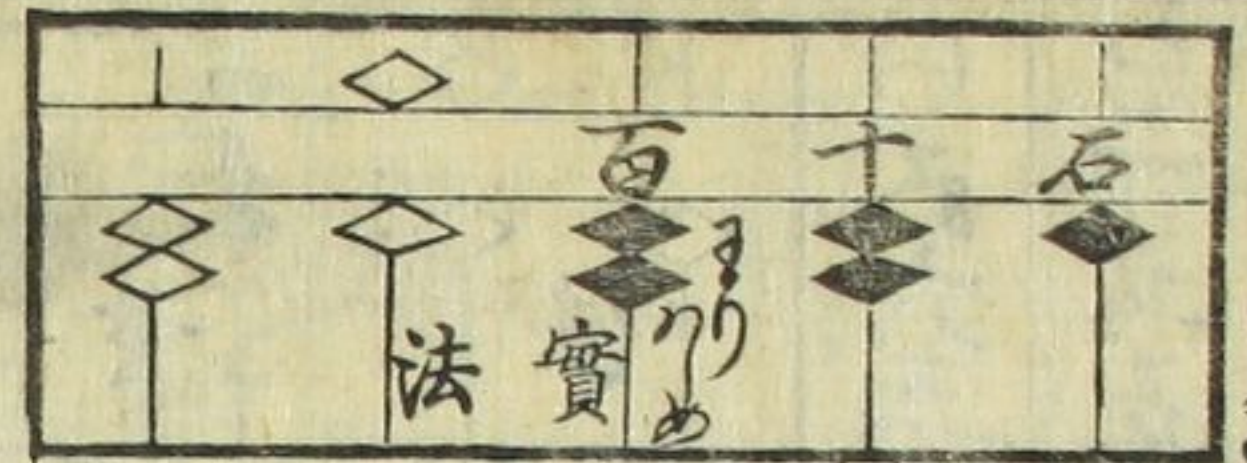
万

二六

〇二天作六

見二圖

あつめり
見二圖
二百廿六
八石六斗二合



① 六六三十三

① 六八四十八 ① 二天作

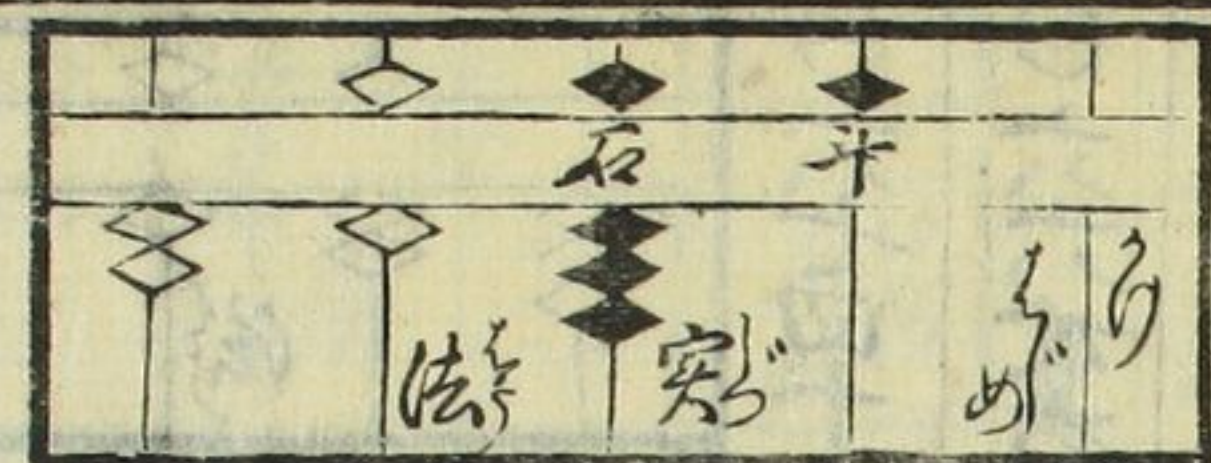
① 見二圖
えりこぞて
六九六十四
一倍二つ

① 六八四十八
はるあま
はるあま

① 二天作
はるあま

① 六六三十三
はるあま
はるあま

見二かげざん



① 五六三十三

① 二五十五 ① 六八四十八

① 二八十六

① 五六三十三
はるあま
はるあま

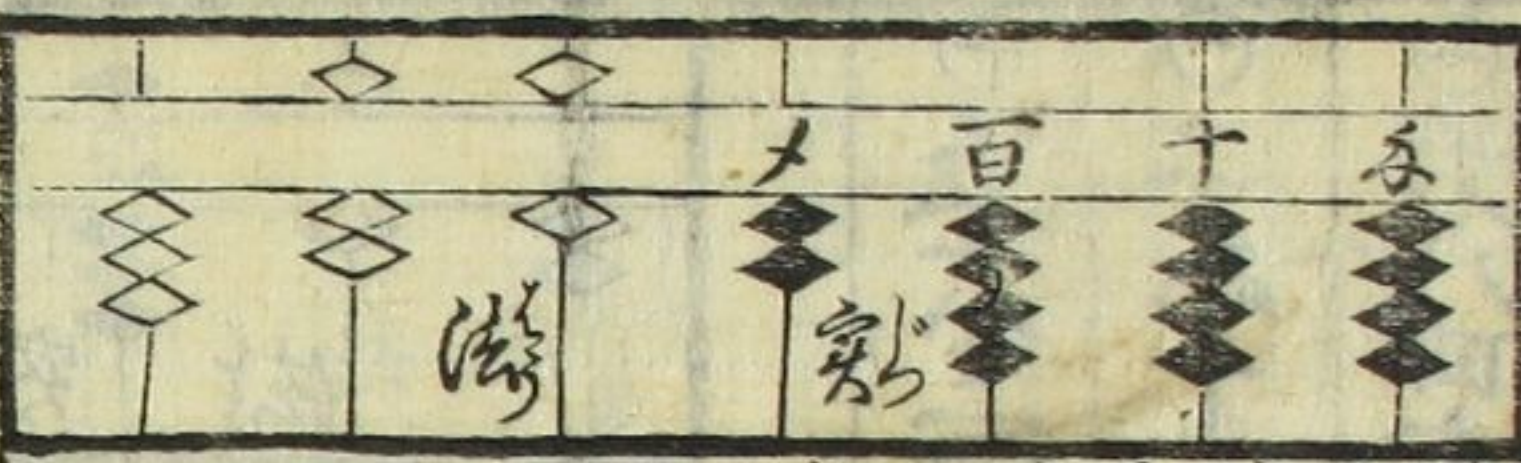
① 二五十五
はるあま

① 六八四十八
はるあま
はるあま

① 二八十六
はるあま
はるあま

見三圖

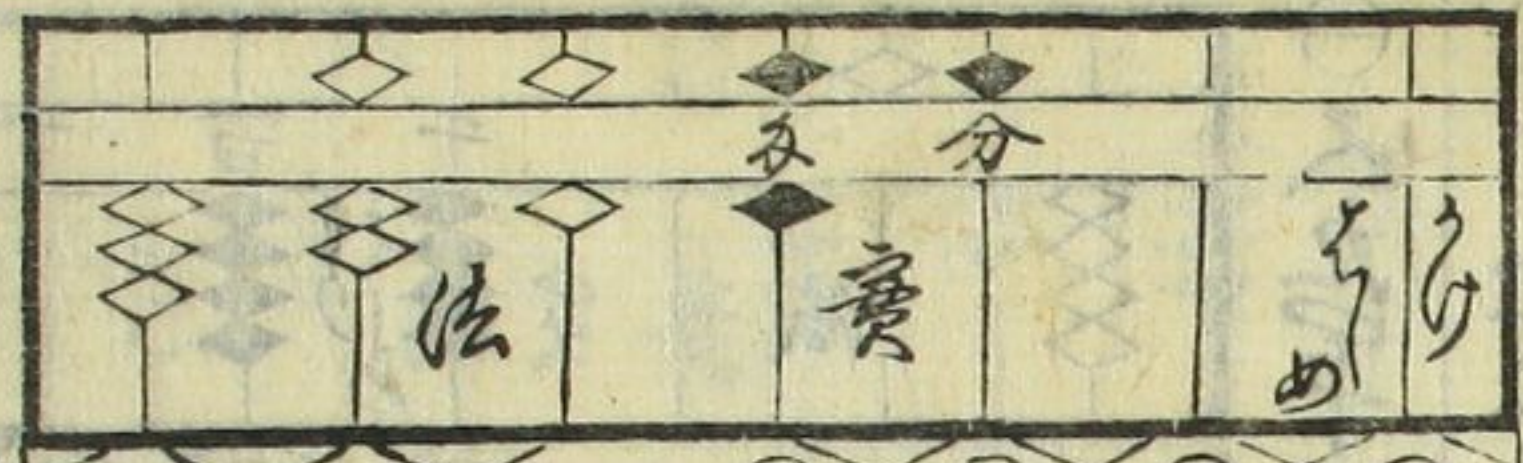
あつひの 銀貳貫百四拾貳文
三百七十あつひまで
あつひ分りあり



- ③五六三十九
 - ①六六六六③六進光③五七七九
 - ①六七四十二①③三二三十一
 - ①三二六十二
- 是の算の二と後の三と見あはせ
二とあはせたりあり二と見あはせ

- ①六七四十二①と八算のあと後の七と見あはせは
たつて半引決のたつて二引を
- ①六六六六①と八算のあと後の七と見あはせは
たつて三引決のたつて六引を
- ③三二六十二①はたつて三引決のたつて三と見あはせ
はたつて二引決のたつて二と見あはせあり
- ②六進二十①と二と見あはせあり

- ③五七九八①と八のたつておありはたつて後の七と
見あはせはたつて七引決のたつて七引を
 - ②五六三十九①と八算の二と見あはせはたつて後の七と
見あはせはたつて三引決のたつて三引を
- 見三つひざん

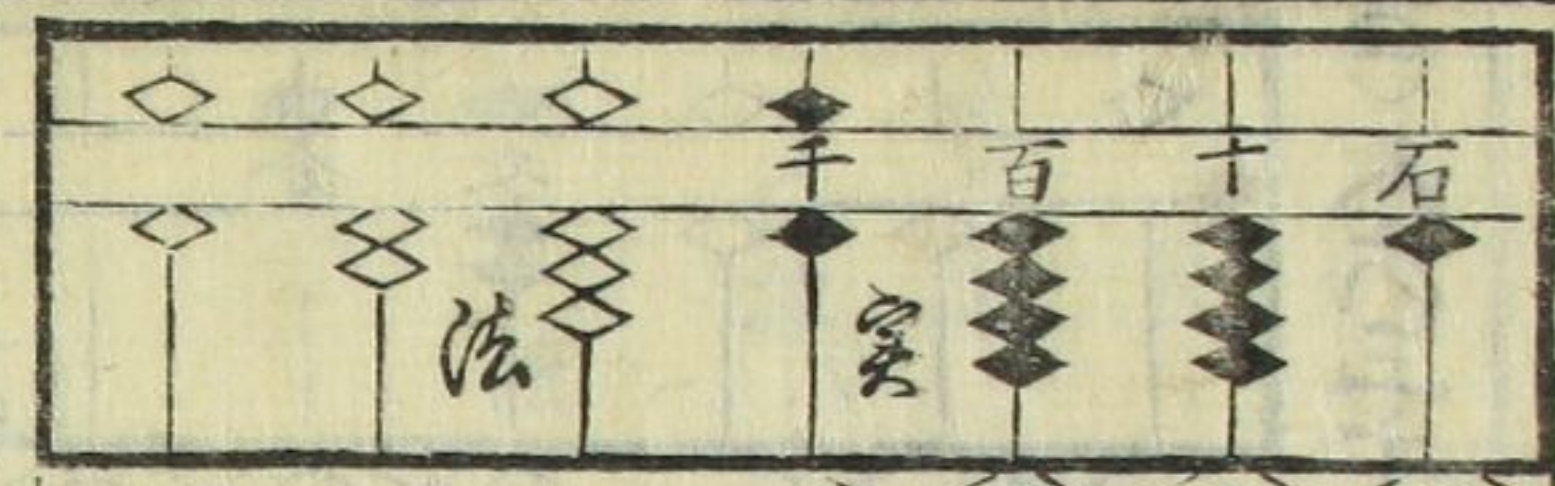


- ①五六三十九
 - ①五七九八
 - ③三六十八
 - ①三五十八
 - ①六六三十九
 - ①六七四十二
- たのふと後の七と見あはせ
はたつて三引決のたつて三引を
- はたつて七引決のたつて七引を
- はたつて三引決のたつて三引を
- はたつて七引決のたつて七引を
- はたつて三引決のたつて三引を
- はたつて七引決のたつて七引を

- ①又七九八①と八算のあと後の七と見あはせは
たつて三引決のたつて三引を
- ③六六六六①と八算のあと後の七と見あはせは
たつて三引決のたつて三引を
- ①三又十五①はたつて七引決のたつて七引を
はたつて三引決のたつて三引を
- ③六七四十二①と八算の七と見あはせはたつて七
と見あはせはたつて七引決のたつて七引を

見六圖

百七十八より進んで
九石六斗也



① 八四十一

① 八九七十二 ① 又七三十九

① 七九六十三 ① 六三三九

見六算九六
しりあてたど九あつくりより六
くまらあり

① 七九六十三
しりあてたど九あつくりより六
くまらあり

① 八九七十二
しりあてたど九あつくりより六
くまらあり

① 六三三九
しりあてたど九あつくりより六
くまらあり

① 又七三十九
しりあてたど九あつくりより六
くまらあり

見六算九六

① 五八四十一

① 五七九十二 ① 八九七十二

① 五六三十三 ① 七九六十三

① 六九六十四
しりあてたど九あつくりより六
くまらあり



① 又八四十一
しりあてたど九あつくりより六
くまらあり

① 又七九十二
しりあてたど九あつくりより六
くまらあり

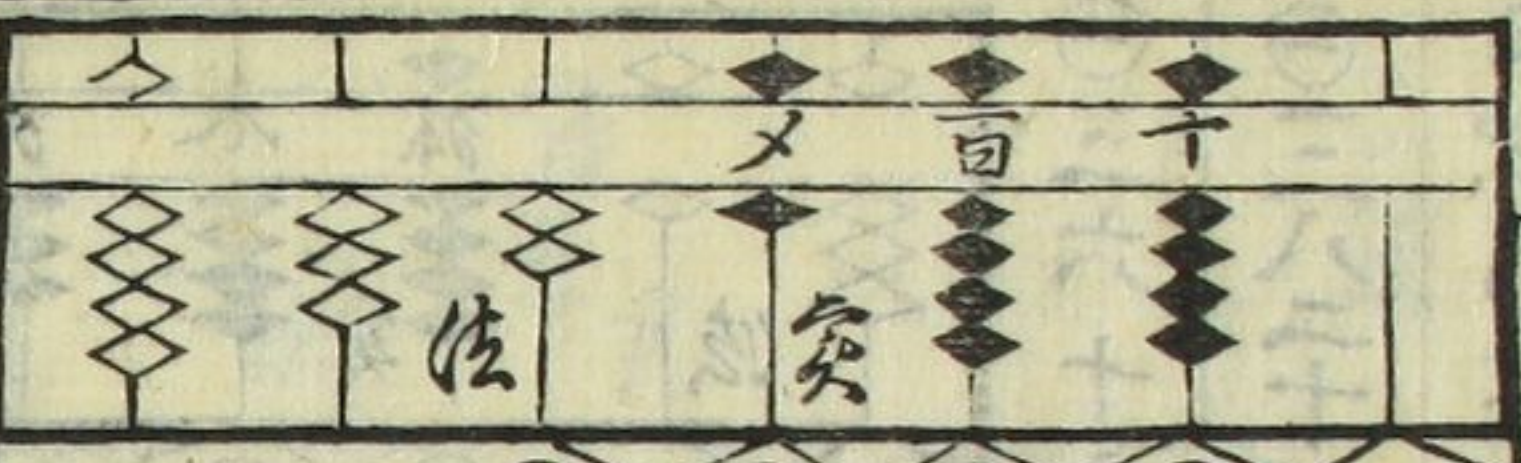
① 又六三十三
しりあてたど九あつくりより六
くまらあり

① 八九七十二
しりあてたど九あつくりより六
くまらあり

① 七九六十三
しりあてたど九あつくりより六
くまらあり

見九番

あつひの 銀六貫九百九十目と
九百三十二目と
七ふふふあり



①二又十川
①二七十九川 ①九進二十 ①三平六川
①九進二十 ①二七十九川 ①九進二十
①九進二十 ①二七十九川 ①九進二十
①九進二十 ①二七十九川 ①九進二十
①九進二十 ①二七十九川 ①九進二十

①九進二十

公の九進二十と九進二十とありて
九と十のひとあり

①二七十九川

公の七と法の三と見の七と見の七とありて
二七十九のひとあり

①二七十九川

公の七と法の三と見の七と見の七とありて
二七十九のひとあり

①九進二十

公の九進二十と九進二十とありて
九と十のひとあり

①二又十川

公の二と法の十と見の二と見の二とありて
二又十のひとあり

①二又十川

公の二と法の十と見の二と見の二とありて
二又十のひとあり

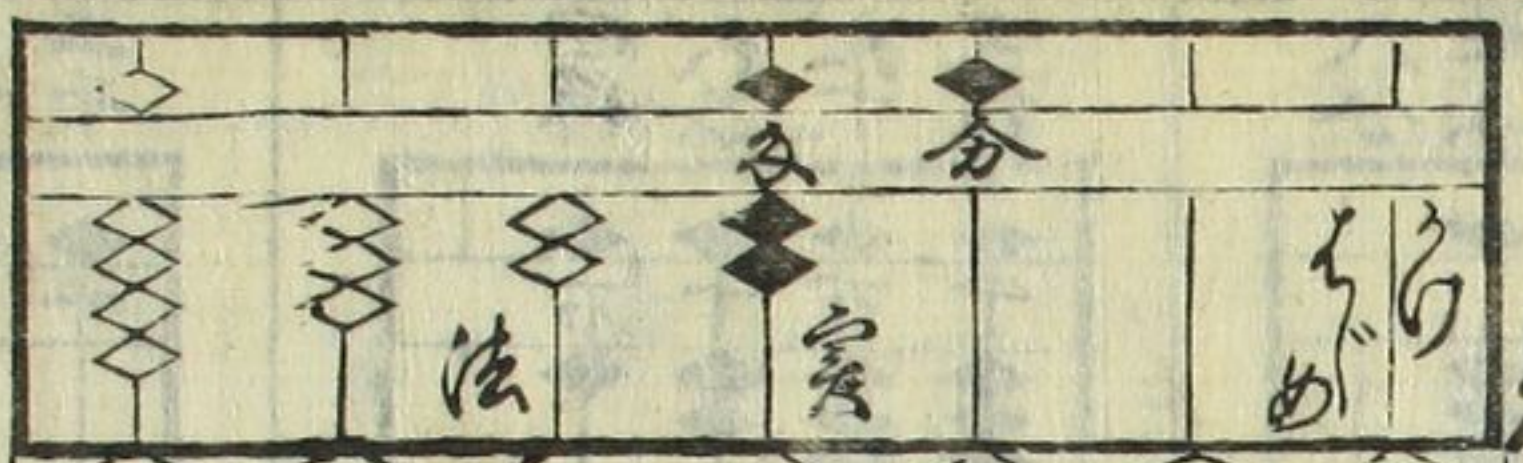
見九のひとあり

①二又十 右に七と法の三と見の七と見の七とありて
二又十のひとあり

①三又十五 右に七と法の三と見の七と見の七とありて
三又十五のひとあり

①二又十 右に七と法の三と見の七と見の七とありて
二又十のひとあり

①七又六十三 右に七と法の三と見の七と見の七とありて
七又六十三のひとあり



①二又十川

公の二と法の十と見の二と見の二とありて
二又十のひとあり

①二又十川

公の二と法の十と見の二と見の二とありて
二又十のひとあり

①二又十川

公の二と法の十と見の二と見の二とありて
二又十のひとあり

①二又十川

公の二と法の十と見の二と見の二とありて
二又十のひとあり

才九 かひていしれらるる

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 九石 | 三石 | 八百 | 二千 |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |

八四早
 八七世
 八六三千
 八五世

九百六十七八と
 二のり割時八下と
 りりてかたれだ
 二子八百三十九と
 あり也

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 石 | 斗 | 石 | 千 |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |

四六九
 四七九
 四八二
 四九六

九千八百七十六と
 二千八百七十六と
 七のり割時八下と
 二のり割時八下と
 あり也

| | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 分 | 七 | 十 | 二百 | 一 |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |

二九十八
 二八十六
 二三四
 二六十二

九千八百七十六と
 二のり割時八下と
 二のり割時八下と
 二のり割時八下と
 あり也

| | | |
|-----|-----|-----|
| 八合 | 九石 | 七 |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |

六八四十八
 七八五十六
 八八六十四
 八九七十二

九千八百七十六と
 百二十とあり
 下の八のり割時八下と
 七のり割時八下と
 あり也

才十 まりのり割時八下とあり

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 全首 | 二百 | 十 | 百 |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |

四進一十
 四三七十二
 四二二二
 四二天五

九百六十七八と
 二のり割時八下と
 二のり割時八下と
 二のり割時八下と
 あり也

| | | |
|-----|-----|-----|
| 五石 | 九百 | 三 |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |
| ◆◆◆ | ◆◆◆ | ◆◆◆ |

八四天作五
 八進一十
 八七八十六
 八三加下六

九百六十七八と
 二のり割時八下と
 二のり割時八下と
 二のり割時八下と
 あり也

第十一 傑海賣買の本

○この後唐目一付二付武五下つた此

唐目百目付つた後唐目あること

言曰大書唐目といふ

唐目唐目一付の百平目とある武五下

あつたれは百平目とある百平目かの武貴

百目とあるなり

○傑海日本目一付二付武五下より

お場の兩平目一付二付も付と云

言曰二下つと云

唐目平目一付武百廿目とあると云

下つた重とあり七百五十九とある目

目武百廿目一付二平目一付とある

とあると云

○信武唐目つ入つたの信武あり

先と信百目二付六目つのお場あり

は後信何程と云

言曰二書八百唐目と云

唐目信武唐目と云信武六十の百九

十二唐目とある大書目とある代

三入八百十目と云

○今信百目二付大書目つ傑海信と書

七百五十九と信代信百目二付外信

つたれは信の代信何程と云

言曰二百五十九と云

唐目百目と云信代信の格ありと云

百格ありとある大書目とあり大書

百目とある信と云ありと云信と

書七百五十九とある信の代信二百

五十九あり

第十三 相會の本

○信武大書信一と云入つて七十

八の信武信一人の信二格五と云又

一人の信二格一と云又一人の信十三

又下あすはり一人の帳ら又出るとは
めんくろ出帳小意としてまけらるる
何程つそと旨

旨日

廿九又出るといふ二天とる
廿二又出るといふ二天とる
格ら又出るといふ二天とる

二天とる
形日簿の長又二天とる出帳三格九又
ろの二〇二八とる二天の代帳七格八又
中又割二天とるといふあり〇又出帳
武格二天とる格ら又出るといふ二天とる
代帳七格八又とる二天とるといふ
〇又出帳格ら又下簿の長又二天とる
乃代中とる二天とるといふ〇又出帳
二天とるの長又二天とるの代帳割ら
二天とるといふあり

〇廿二天とる二天とる二天とる二天とる

又下あすはり一人の帳式又下又
一人の二天とる二天とる二天とる
出帳小意として布と分る二天とる

旨日

廿九又出るといふ二天とる
廿二又出るといふ二天とる
格ら又出るといふ二天とる

形日布長二天とる二天とる二天とる
六又とる二天とる二天の代帳二分中
二天とる二天とる二天とる二天とる
二天とる二天とる二天とる二天とる

〇又形日布長二天とる二天とる二天とる
中又割二天とる二天とる二天とる
めんくろの出帳小意としてまけらるる
とる二天とる二天とる二天とる二天とる
二天とる二天とる二天とる二天とる
二天とる二天とる二天とる二天とる
二天とる二天とる二天とる二天とる

同八十九文あり付也 一本一合二文七文二文
同九十目と記也 一本一合二文二文

第十四 米賣買并儀也のり

○米四斗三升二合五撮一匁付三升二
合のれりりあしとて代仕何程と云
後十三文五分と云

右の五米と相場三升二合とていへば
代仕知りあり

○銀指と云り下五二文三升二合のり
賣りのしとて代仕何程と云

米四斗三升二合と云七文五撮お相場
三升二合のり六代米知りなり

○米百十文ある石付二十二文下トツ
して代仕何程と云

後二賣七百廿七文下と云右の五米
お相場二文五分とて六代仕知りあり

○増二賣七百二拾七文五分二文付廿
二文五分ありとて代仕何程と云

米百拾文ある石付二文の代仕
二文五分ありとて代仕何程と云

○後二文付三升二合の賣りのと云
まの六何程ありとて同

一石付二文五分ありと云右の二石と
お相場二文五分ありとていへば

○米一石付代三拾五文五分ありの相場
と云付米何程と云

一石付三升二合と云右の二石と
お相場二文五分ありとていへば

○米子百文の付代三拾五文五分あり
先八二付代何程と云

三拾五文五分ありと云七文代
と云米何程と云

○米子百文の付代三拾五文五分あり
と云米何程と云

是ハ格格又付米何程よわくつら言
格又付三斗二升づにあらうといふ
右の米高と向の代格よまれば格又乃
あり米とあらうあり

○米一石付三斗二升五合と三十二石六分
四厘に買付付たふ何程とあらうといふ
一石付三十二石六分とあらうといふ買付と
一石二升五合と割たふの趣とあらう

○又二石二升五合とあらうといふ買付と
買付たふ付何程とあらうといふ
一石付三十二石六分とあらうといふ 右の
買付と九斗八升とあらうといふ

○三斗二升一合付十二石六分とあらう
四斗二升一合何程とあらうといふ
十石七分とあらうといふ 右の四斗二
升と五斗二升とあらうといふ格又あらう
○三斗二升一合付十二石六分とあらう

とと合斗儀六百二十儀此代何程とあらう
九貫五百貫月と云 右の儀數四斗と
かのそとと四斗二升とあらうといふ
一石とあらうといふと二石とあらうといふ

○米一石付三斗二升五合と三十二石六分
四厘に買付たふ何程とあらうといふ
七貫三百九十五貫と云 右の儀數四斗
三升とあらうといふと二石とあらうといふ

○米一石付三斗二升五合と三十二石六分
四厘に買付たふ何程とあらうといふ
七貫九分とあらうといふと二石とあらうといふ
同 格又あらうといふ

米二石六斗二升五合と三十二石六分
四厘に買付たふ何程とあらうといふ
大豆二石六斗二升五合と三十二石六分
四厘に買付たふ何程とあらうといふ

小豆二石六斗二升五合と三十二石六分
四厘に買付たふ何程とあらうといふ
三石銀合式百七十九分とあらうといふ
つれお湯合八分とあらうといふ

志て五石といふは二石六斗五升と云
或は六石七斗といふとも同様に云ふ
とれくのお勘定ありて五石といふ也

○米一石付二十石又八分 大豆一石付二
十石又 小豆一石付二十七石二分 麦一石
付拾一石二分 粟七石付拾一石二分 右の
いふに粟は附米に中ぶんと大豆とれ大豆
乃中分小豆とれ小豆の中分を粟ととり
中ぶりを何程つとて同

米拾二石は粟百平十二石五分下
大豆六石五分は粟百平十石五分

小豆三石五分は粟百平八石五分下
麦一石六斗二升は粟百平十石五分下

先程つとて粟は銀合七百十石五分 右の
麦一石の代小豆二石の代大豆一石の代
米八石の代ありて粟百平十石五分あり
同様に云ふは粟といふは粟は粟と

あるはれ小豆か粟か小豆の秤較と
なはれ粟より下るれは大豆の秤較と
ありとれ小豆か粟か粟は粟と粟と

○米一石付二十石又八分 大豆一石付
二十石又 小豆一石付二十七石二分 麦一石
付十石五分下 小豆一石付廿二石八分
粟七石五分又右のいふに粟は粟は
大豆の同秤較とて又粟より小豆の
二石五分とて粟より麦の同秤較とて粟
より小豆の二石五分とて粟の又粟の秤
同何程つとて同

米六石五分は粟百平拾八石五分五分
大豆六石五分は粟百平十二石五分五分
小豆三石五分は粟百平九石五分五分
麦拾一石五分は粟百平十六石五分五分
小麦七石五分は粟百平八石五分五分
とて又銀合七百拾石五分 右の小豆の

才十六 俵を積る事

○丁銀五百六十九文ありて、此の丁銀の
 内二割の丁銀を替りて、此の丁銀の
 俵吹何程と同、俵吹五百六十九文二下
 と云、法は五百六十九文と云ふ、是れ
 八割の丁銀俵吹五百六十九文二分之二也
 ○二まり引らるる八割の丁銀の十二
 文をまるごとく
 ○二まり引らるる八割の十二文の丁銀は、
 八割の丁銀と云ふ事
 ○俵吹七百九十二文ありて、丁銀の内二
 割は、五百六十九文ありて、丁銀何程と同
 九百九拾月と云ふ、是れ俵吹七百九十二文
 と云ふ、是れ八割の丁銀俵吹七百九十二文
 九百九拾月と云ふ事なり
 ○あるの丁銀俵吹九百九拾月ありて、丁銀
 俵吹の内二割引らるる、是れ丁銀俵吹
 何程と云、丁銀九百九拾月二分之二ありて、
 先格を丁銀俵吹の内二割引らるる、
 九百九拾月ありて、是れ九百九拾月二分之二也



○二分引の内九七文ありて、此の丁銀
 くりあり ○二分は、此の丁銀の二分
 の内九七文ありて、是れあり
 右何程とも、此の丁銀の二分ありて、
 二分引の内九七文ありて、是れあり
 右何程とも、此の丁銀の二分ありて、
 二分引の内九七文ありて、是れあり

銀三割
 一二加下十四二加下十四
 三六加下四九加下十三
 早二進十

右の板一枚の重目あり下板ありと重板
ありと四十文にくりしは六板何枚か
あるまじしとあり

申十七 金二百五十九

○金二百五十九の附判金此板何枚も百
二十八文ありて右の金板何枚と云
板二百目との判金一枚のありて百十
文ありて右の百廿八文と百十文ありて判
金一文付板十二文つゝありて右の判
金の金井文ありて右の板二百目と云
右の判金の板ありて右の判金の
ありて右の判金の板ありて右の判金の
ありて右の判金の板ありて右の判金の
ありて右の判金の板ありて右の判金の

○あるひの金七文と云ありて右の判金の板
場二百目の判金百目と云十文ありて判
金一文付板十二文と云ありて右の判金
と云ありて右の判金の板ありて右の判金の
と云ありて右の判金の板ありて右の判金の

板八十文と云ありて右の判金の板ありて
あるひの判金の板ありて右の判金の
右の判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の

○上金九十文と云ありて右の判金の板ありて
右の判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の

判金七枚と云ありて右の判金の板ありて
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の
判金の板ありて右の判金の

よひのり物年月廿十一日かき置格
三五二分とかり是れ元帳と記六百十二
二分とた別も懸又たこれ程懸二分と
の二年ぬれ月廿十三日かき置六十又九
分ヨリ三二とかりたへる六百廿九二分
三二又元程たは懸二分とかりこれか
六月とかりれ七又五分とあり是と右
へ入合六百二十又七下とかりぬ

第二干

柴薪米由 年 賣買積懸知の

○柴二八分此と右二百六十米あり是と
三八とあり懸して何米にるぞと記
二百六十米ありと云 左の二八分又懸
の合をれれ二百六十米とかけたはあふ懸
又三八又懸の合九とあり是と月安ふ
とてたと別あり

○是と三八分すあはれまう一担十五付
早米乃係ゆとて三八分と右二百六十米の

と久二つ代地何程と
懸格と又三分とあり
たの二八分又懸の合九
あり是と二百六十米との
二二分とありたはあふ懸
又二八分すあはれまうの合をれれ早米と
うの二八分とかり是と月安ふとてたは
二二分と別は二百六十米代たあり



○又稻格及は何米にありと記
又十七米六分はありと云 左の二百六十米
と代地早十三又下と別は早十七米六分と

○又一米の代地何程と記
を分七厘三毛六分と云 右の代地
早十三又下と二百六十米と別は早十七又

○別本 長九寸 二尺三寸此は
長九寸 二尺三寸此は
は二尺の内の二尺三寸と記して懸とて向

言二八寸あり此方徳と云他種格々の
内あり八寸三毛づつそふと云 右八寸ありす
魚の合それれは長二八寸すとのそれれは
十粒とつは長二八寸とあるたあふ魚又二八寸
す或は魚の合それれは長九寸とありそふは
八寸とつは長二八寸とある是と月安は
とたの二八寸とつは長十寸八寸とあるは
八寸とつは長二八寸とあるあり

○今八粒ありは長二八寸とあるあり
貴月ありの貴月ありの貴月一長二寸十二貴
百月づつは長二八寸とあるあり
二百六十七貴と百月と今日此本は八寸と云
とほしは長二八寸とつは長十寸八寸との根
何程とつは長二八寸とつは長十寸八寸との根
右八寸とつは長二八寸とつは長十寸八寸との根
ふ八寸とつは長二八寸とつは長十寸八寸との根
は八寸とつは長二八寸とつは長十寸八寸との根

第廿一 枝木貴買起并竹板と云

○又寸角の二寸本は長二寸代は二寸と
又寸角の二寸本は長二寸代は二寸と
角は二寸とつは長二寸とつは長十寸八寸との根
四寸角 代七格同分 五寸角 代二寸とつは長十寸八寸との根
五十寸 代七格同分 五寸角 代二寸とつは長十寸八寸との根
右八寸とつは長二八寸とつは長十寸八寸との根
か二寸とつは長二八寸とつは長十寸八寸との根
二寸とつは長二八寸とつは長十寸八寸との根
二寸とつは長二八寸とつは長十寸八寸との根
角二寸とつは長二八寸とつは長十寸八寸との根

○又右の寸角一本は何程とつは長十寸八寸との根
また寸角一本は長二寸代は二寸とつは長十寸八寸との根
又寸角一本は長二寸代は二寸とつは長十寸八寸との根
又寸角一本は長二寸代は二寸とつは長十寸八寸との根
又寸角一本は長二寸代は二寸とつは長十寸八寸との根
又寸角一本は長二寸代は二寸とつは長十寸八寸との根
又寸角一本は長二寸代は二寸とつは長十寸八寸との根
又寸角一本は長二寸代は二寸とつは長十寸八寸との根

たの長二尺又寸と重二尺づりたてと
それな角の面は二十又とつりて本板十
八寸とつれだて七又とあるたおあつて
すはすとのそれな長二尺とつりて又又と
二尺六二〇八と重は同安ありてたの六
〇七又と割それな長二尺とつりてたの六
十八寸代たてあり

○厚二分板十尺と代十八又と又厚
二分の板たては五又と重は同安ありて分
板は方より二分板の方へ本板より代
十尺と付中つとつりて又又と
分板二十又と代何程とつり

八分又分八分と云 右の板は
二分の板は一と重たおあつて又十又と
重は二分と割これの二二又と重は同安
ありてたの二と割は二七寸とあるはた
八又とつり

○板本ありあり

板本代何程とつり

板本ありあり

板本代何程とつり

板本代何程とつり

○板本七寸九分

角の面は寸九分あり

○板本七寸九分

角の面は寸九分あり

板本八寸角と同長の板はこれあり

本居の二寸五分八寸 本居格後一尺寸

右八寸は二二五とかなひの倍は二二五と
あるは又格後一尺寸は九寸五分 九寸五分
して角の二寸五分は格後二二五とかなひ

○六寸五分は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分 二寸五分 二寸五分 二寸五分

右八寸五分は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は

○竹二尺八寸五分は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は

○又右の二分ありと云ふは格後九寸五分と
同くは二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は

○竹二尺八寸五分は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は

○又右の二分ありと云ふは格後九寸五分と
同くは二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は

○又右の二分ありと云ふは格後九寸五分と
同くは二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は

○又右の二分ありと云ふは格後九寸五分と
同くは二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は
二寸五分の倍は二寸五分の倍は二寸五分の倍は

五寸五分八分板のわらわら

二方寸又百六十枚と云 太の厚一分

と云二寸と云三寸と云のそれ二方寸板

と云の九二四とある太の厚又九リ又も

と云二寸八分と云九寸五分と云の二

二七とある是と目安のく太の九二四割

○又二方寸又百六十枚と云千枚二付代

板一及八分づあや八分付代板何程と云

六寸五分八分一リ七色と云

右のそれ板一及八分と云の

分九二 縮布製買入事

○布一尺二寸二分切り切の製買入事

と云一尺八何程と云の

二分切り切の製買入事

右のそれ板一及八分と云の

○布一尺二寸二分切り切の製買入事

と云一尺八何程と云の

二分切り切の製買入事

右のそれ板一及八分と云の

○布一尺二寸二分切り切の製買入事

と云一尺八何程と云の

二分切り切の製買入事

右のそれ板一及八分と云の

○又二方寸又百六十枚と云千枚二付代

板一及八分づあや八分付代板何程と云

六寸五分八分一リ七色と云

右のそれ板一及八分と云の

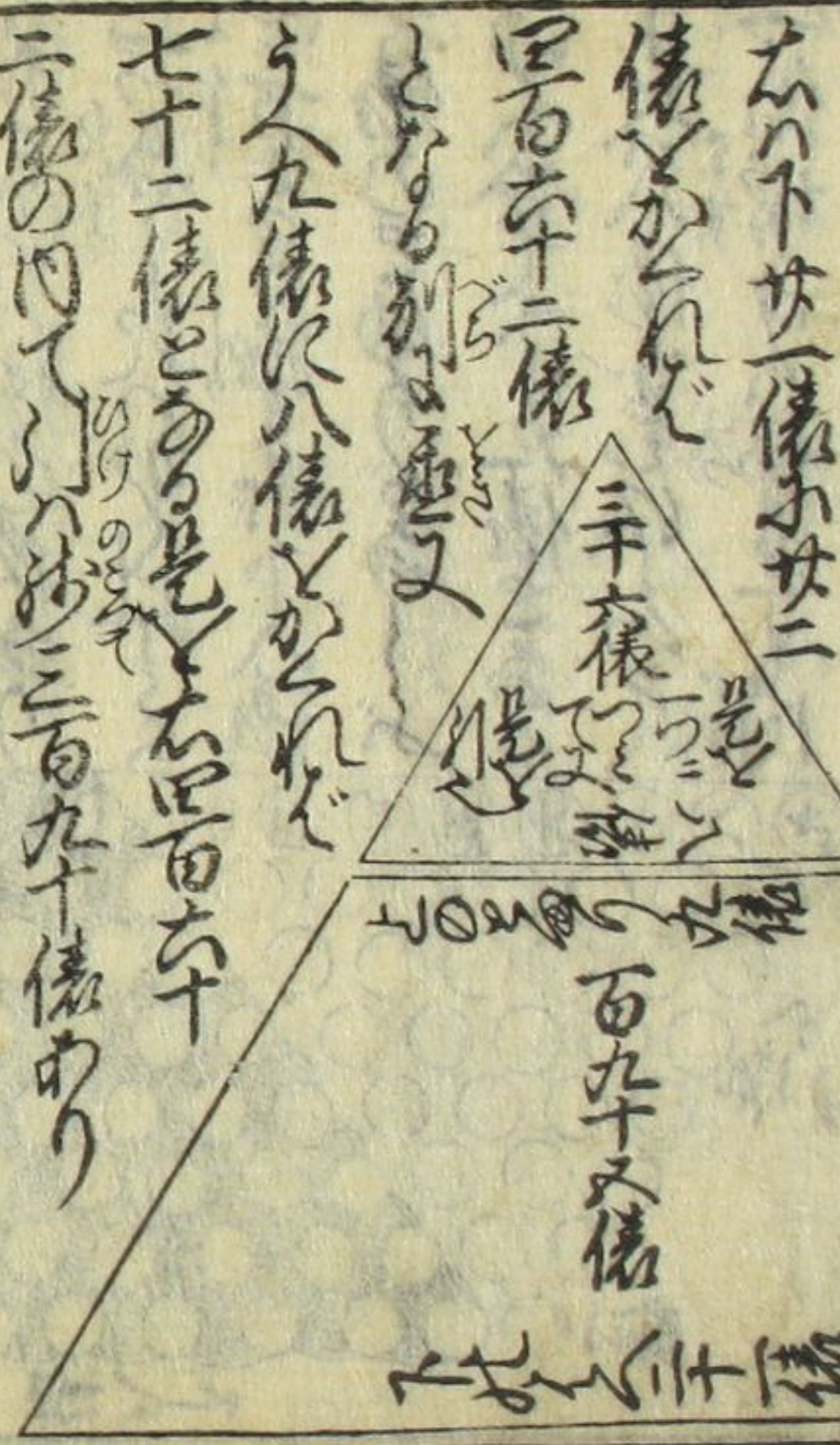
分九二 縮布製買入事

○布一尺二寸二分切り切の製買入事

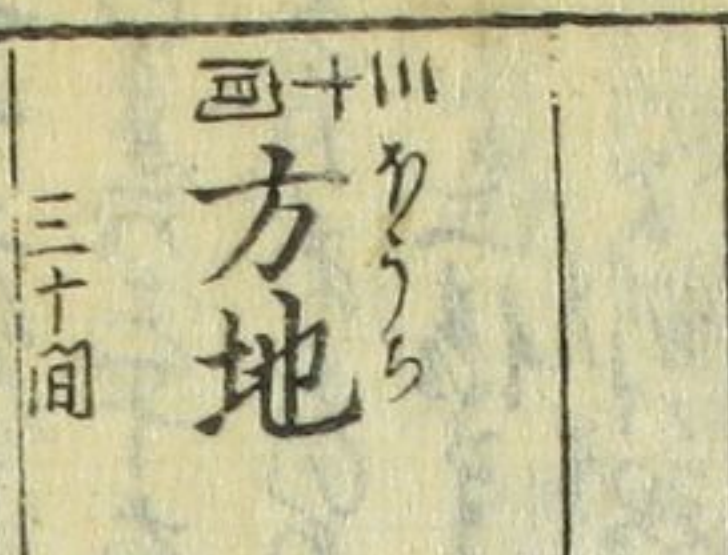
と云一尺八何程と云の

二分切り切の製買入事

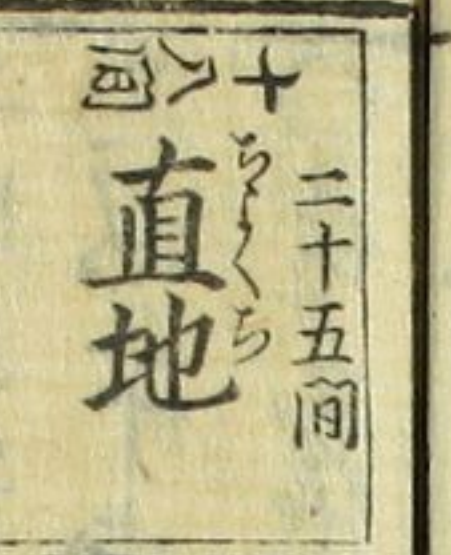
○は秋あり下れと三十一俵とせらるる
 九俵あり俵数何程と云
 百九十九俵ありと云
 大の下廿一俵あり廿二
 俵ありと云
 三百六十二俵
 と云る別は又



う九俵あり八俵と云れど
 七十二俵とある是と云
 百六十二俵あり
 是と云つたは百九十九俵と云るあり
 中井又 橋地 斗代盛之事

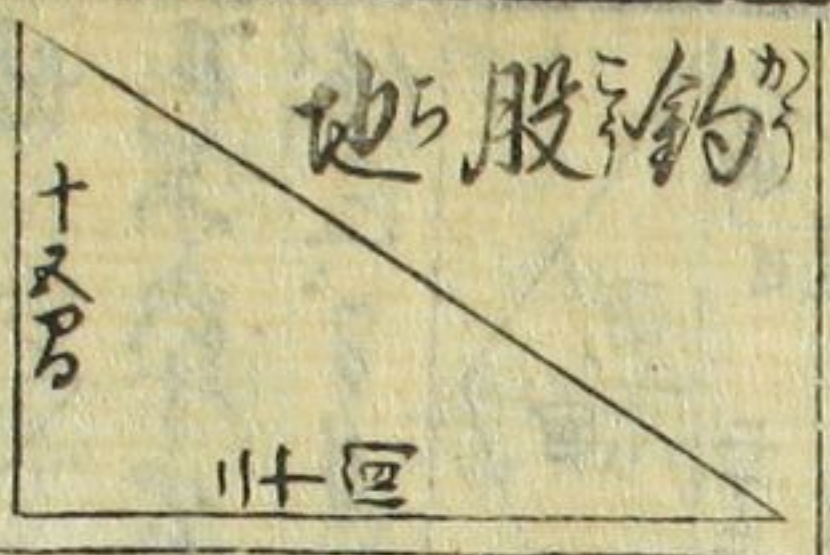


○方三十間方あり田何程と
 云と云 言曰二反と云
 田曰方三十間と云積合九百歩
 とある是と云の二ありまれば
 二反と云るなり



○是廿五間方ありと十八間ありは
 田何程と云 言曰二反と云
 田曰長二十間ありと十八間あり

かまは百歩歩あり是と云の法三あり
 一あり二あり三あり

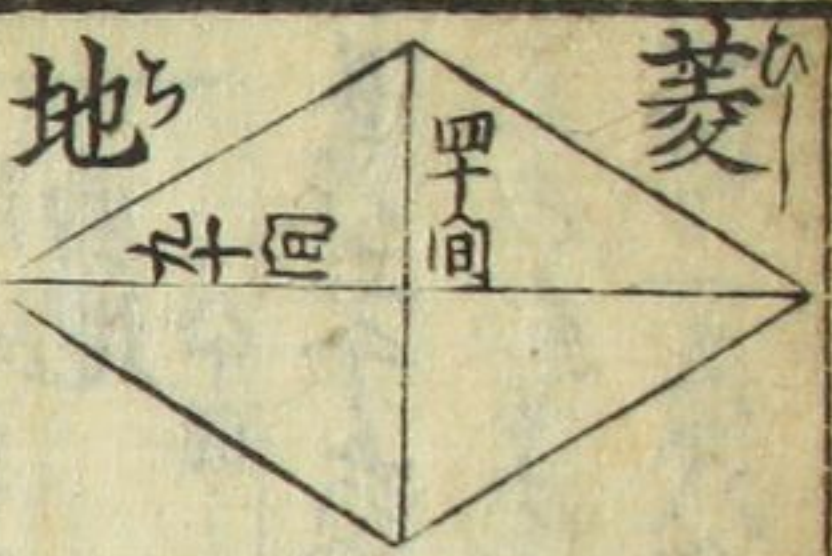


○是十間ありと七間ありは
 田何程と云と云 言曰二反と云
 田曰廿間十反ありと云
 歩とある是と云つたは田の法
 三ありまれば二反と云るなり



○狭十間ありと七間ありは
 田何程と云と云 言曰二反と云
 田曰二十間十反ありと云
 七反と云る是に廿六間と云

是の千三百廿二歩と云是と云つたは六百六
 十六歩と云る田の法三あり二反二畝あり



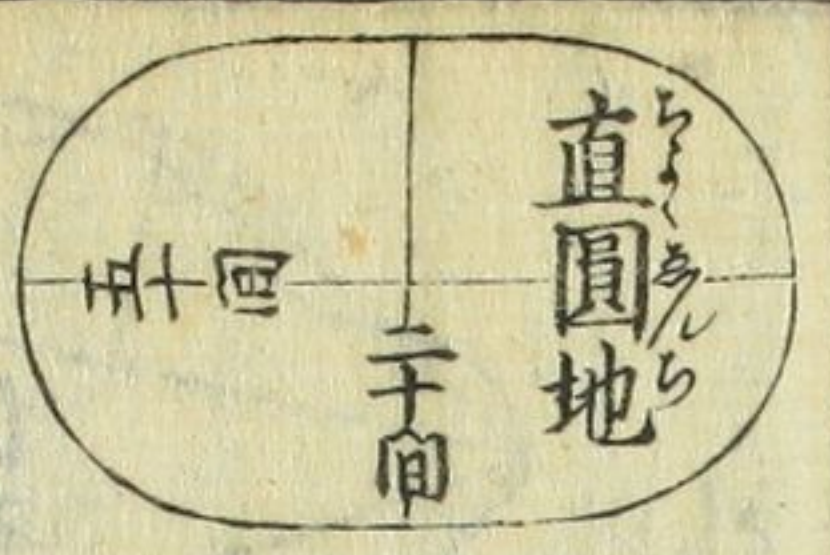
○長九倍の横十間の菱地
五の田何程と云 答曰六反
歩曰十反と云 二つ割九十九と云
歩曰八百歩と云 是の田の法
三三三六六反と云



○扇形地の田の上の方百五
十の田下の方九十二の田
二方ある田何程と云
答曰二町一反又畝二十反と云
歩曰百反と云 九十二間と合
二つ割百二十反と云 是の田の法
二二二二二反と云 是の田の法
二二二二二反と云



○圓形の田の法
答曰一反と云 歩曰二十反
の合百歩と云 是の田の法
二二二二二反と云



○長十間平二十間の直圓地
地の田何程と云 答曰三反と云
歩曰二十間と云 合の法七反と云
の反五反と云 内其反
三反と云 廿四間と云 合の法
七反と云



○如帯後田の法
三十二間内方面
は田何程と云 答曰二反と云
歩曰三十間と云 合の法七反と云
か三反と云 七反と云 合
五反と云 内方面
十六歩と云 合の法
七反と云 是の田の法
三三三三三反と云



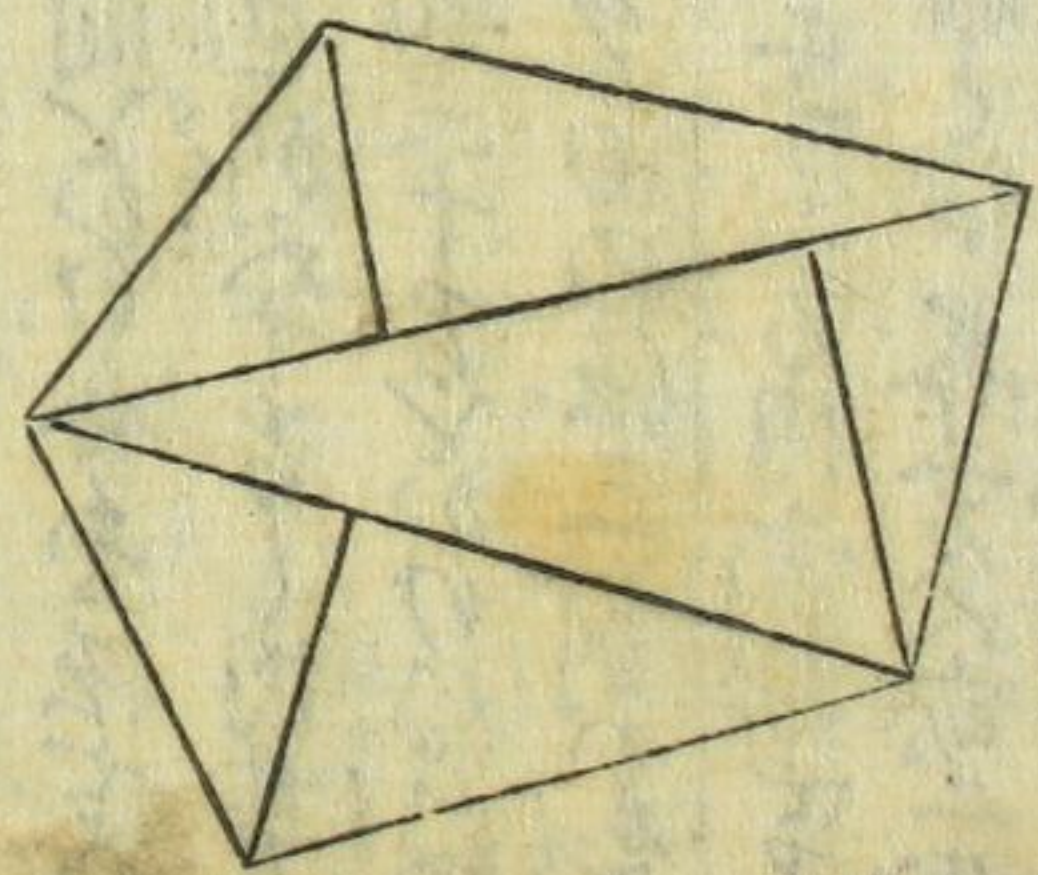
○如圖環田の法
内周二十間と云 外周
何程と云 答曰二反と云
歩曰外周内周合百歩と云

ある二つ三割六斗と云ふは是れ是れ十石と云ふ
 斗の六百歩と云ふ田の法三斗割の二反と云ふ



○如備中凡形地丈八石法十
 六石は田何程と云
 答曰二畝六歩と云
 御目十六石八斗と云の法
 七又く是れ九倍六歩と云田の法三斗
 三畝六歩と云あり

間之抄様如上圖 形之畫様如下圖



斗代盛のり

○二反又畝五斗一反付斗代一石八斗は
 是れ何程何程と云 答曰一石八斗と云
 右の二反又畝一石八斗と云れば

○八畝十又歩五斗一反付一石八斗代は
 と云何程何程と云 答曰一石八斗と云
 右の八畝十又歩と云れば十又歩と云れば
 八畝と云れば是れ一石八斗と云れば

○一町二反三畝は是れ何程と云一斗四斗
 是れ何程何程と云 答曰一石八斗と云
 右の二反三畝と云れば一町二反三畝
 一石八斗と云れば

斗代六 知り方あり

○是れ何程何程と云 答曰一石八斗と云
 右の二反三畝と云れば一町二反三畝
 一石八斗と云れば

石三斗五分と云ふは先細米と云ふは
成三斗五分と云ふは白米と云ふは又細米
八斗五分と云ふは又米と云ふはなり

○又三日の成米合一夜ふんる時ハ二斗と
又八斗合一斗一斗は是れ二斗のては
と云ふは是れ二斗のては二斗は白米と云ふは
合七斗五分と云ふは二斗と一夜と云ふはなり

○物成は米二斗四分八斗五斗二斗合
七斗五分と云ふは是れ二斗のては二斗合
ハ細米二斗四分三斗五分ハ細米二斗四分
八斗四分と云ふは是れ二斗のては二斗合
右二斗と八斗合一斗一斗は是れ二斗のて
四斗五分と云ふは二斗四分六斗と云ふは
月安ありて七斗五分と云ふは二斗四分
○又右に米二斗四分ハ細米と云ふは米六
万九千と云ふは七斗五分と云ふは二斗四分
是れ二斗四分と云ふは二斗四分と云ふは

○二斗の白米合米二斗合七斗五分と云ふは
十斗五分と云ふは二斗四分と云ふは
八斗五分と云ふは二斗四分と云ふは

○又右の白米合米二斗合七斗五分と云ふは
二斗四分と云ふは二斗四分と云ふは

○又米二斗四分と云ふは二斗四分と云ふは
八斗五分と云ふは二斗四分と云ふは

○右に米二斗四分と云ふは二斗四分と云ふは
二斗四分と云ふは二斗四分と云ふは

○右に米二斗四分と云ふは二斗四分と云ふは
二斗四分と云ふは二斗四分と云ふは
千斗二斗四分と云ふは二斗四分と云ふは
六斗五分と云ふは二斗四分と云ふは

何程どは米又米いりては何程づとも
答ふ二方二子九百半九石八斗八升三合
物状二万二千百半六石八斗八升三合
百八十四石七斗四合二升又米九百八十八
石八斗七合又右の定成二万七千六百石
三石と重き二万石と云ふは其れが五〇六
と成是れ月安ゆて川成米子五三石
口は二子五石四斗七合と成是程と
も二万五千石の内ゆて川成二万二千九百
四十九石八斗三合と云ふ也是に其の
分は其れ物状とある物状二万と云ふが
口米とある又沙の口二石と云ふは其れ
○徳武百六十日納年貢米三石付中米二
石付中米づつのは米と曰八斗づつのは米と
川又今米此さうば世公家の孫二りの米と
云ふ付中米何程の信たづつとも
中米又石二斗五升此信たづつとも
太一石と重き二斗と八斗重合一石二斗一斗
五石二十八石と云ふ又二石と云ふは其れ月
安ゆて其れと云ふあり

○東村の成合も子又百石西村の八分
物状八百石二斗二升五合他物状の内は
五百石付二石二斗づつのは米と又納り米
一石付二斗づつのは米と云ふりて其の西村
の何程づつとも同 答東村の半八石と
西村の百石と云ふと云 右の重き千石百
石又米二石二斗と云ふは其れ八石と成是れ
其物状八百石二斗二升五合此付中米
と云ふは其れ割り中物状七百石と云ふ
是と右の重き又千石と云ふは其れ八石と云
七百石と成是れと云ふは其れ七百石と云ふ
内ゆて川成二石と云ふは其れ又其れ
内ゆて八分川成二石と云ふは其れ二十石と云ふ
是東村の千石と云ふは其れ是と成是れ

内中へ川流しと村のさしこむる也

沖廿七 毛見免お免子

○さす子世石のふ玄年田の八分入りあり時
高細免何程よあつてもと向

各二分入り元の上り又の七リ又毛三ありと云
右免と免と云うは免見のいあふり時

水根と云うは田敷と云うは根のわく事或は
申田合字十六町はさる八百五十一石

田町三反二畝はさる百七十九石二合五分石
は成米字の八分入りとあるとあると上中

下と上と田一歩と内中横たるとは長
縮ふと十三畝附是とあるとあると一畝五分

百六十九石とあるとあると上中下二つ合
種は廿一石とあるとあると一ふれ七つとある

是と百六十九石とあるとあると百八十三種とあり
又上中下三種合ると種百八粒とあると

口里二ヶ所は六粒つにあり是と子百八十三石
とあると百八十三石とあるとあるとあると

体に入積六方とあるとあると一歩とあると
又と二七とあり是に田法二百歩とあると

六一石九斗三升とあるとあるとあると田町早
六町はさる八百九粒とあるとあると

は内と田方れさ八百五十一石とあると三十九石
田斗七斗二合六分とあるとあるとあると

十九石二斗三升とあるとあるとあると田方れ
さる八百五十一石とあるとあるとあると

免とあるとあると田方れとあるとあると
○日換三付とあるとあるとあると田町二丁

あるとあると百七粒とあるとあるとあると田
乃内十三町は高年大早とあるとあると

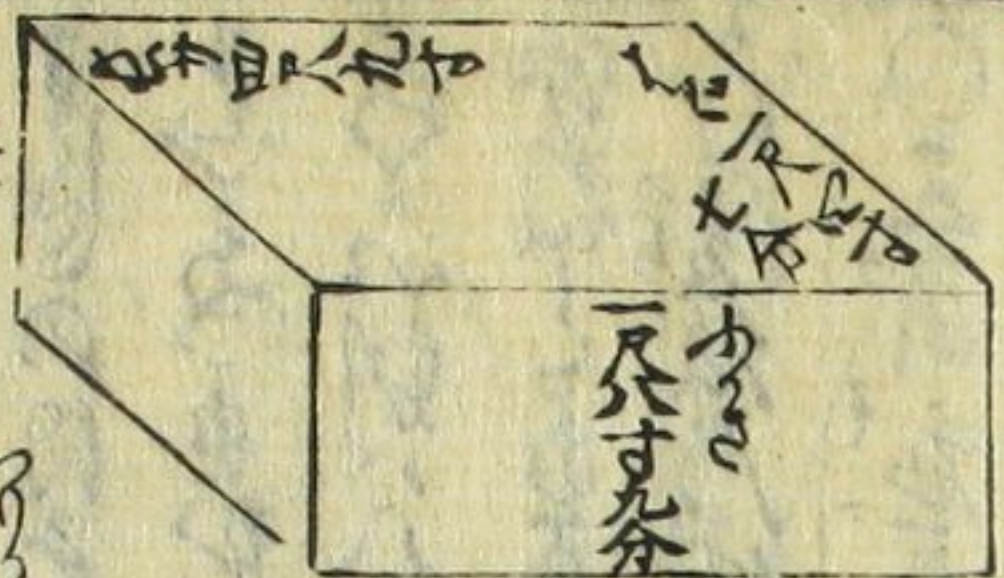
中早とあるとあるとあるとあるとあると
してありとあるとあるとあるとあると

ありとあるとあるとあるとあるとあると
九分一厘とあるとあるとあるとあると

中身如び二寸五分之二又鱗形小虫も同様に
第二十 菊科類類々事

今縁乃法六寸八二七口解きありの小縁厚りあり
右今縁乃法六寸八二七と六二縁の内乃一分
口方れお敷之是とあり口は廣さ九分あり
魚の合それ源二寸七分あり口は六寸八二
七と源是法あり右縁乃法も同様に縁
口廣さ寸五分源二寸五分あり又十六とあり
口は一尺口方れ四寸縁も寸五分あり
と縁は寸一斗又縁は寸二分ありあり

○右今縁乃法六寸八二七と六二縁の内乃一分
八寸九分あり縁も寸五分あり何程入ると口
縁今縁二寸七分八合今縁二寸七分八合今縁
右是乃法也今縁九寸と一尺
寸七分あり口は七寸三分あり
是乃法也一尺八寸九分あり
是乃法也一尺六寸三分あり
是乃法也一尺六寸三分あり
是乃法也一尺六寸三分あり



又右今縁乃法六寸八二七と法六二五
と縁は寸五分あり又右の縁一尺六寸三分
あり十六とあり二尺一斗七縁八合今縁と



○曲物の縁は 一斗又縁は寸八分あり
一尺五分あり八寸五分あり一尺五分あり
と縁は寸五分あり右今縁乃法六寸
八分あり縁は寸五分あり合それ小縁
外法二寸五分あり二寸八分あり
あり是乃法の一尺五分あり口は二寸八分あり
縁は寸五分あり八寸五分あり今縁の法は
口の縁は寸五分あり

○九寸の箱七合九斗入



箱の寸九分五厘は、
ふた寸七分のけり又、
寸の法は、
七合九斗とあり

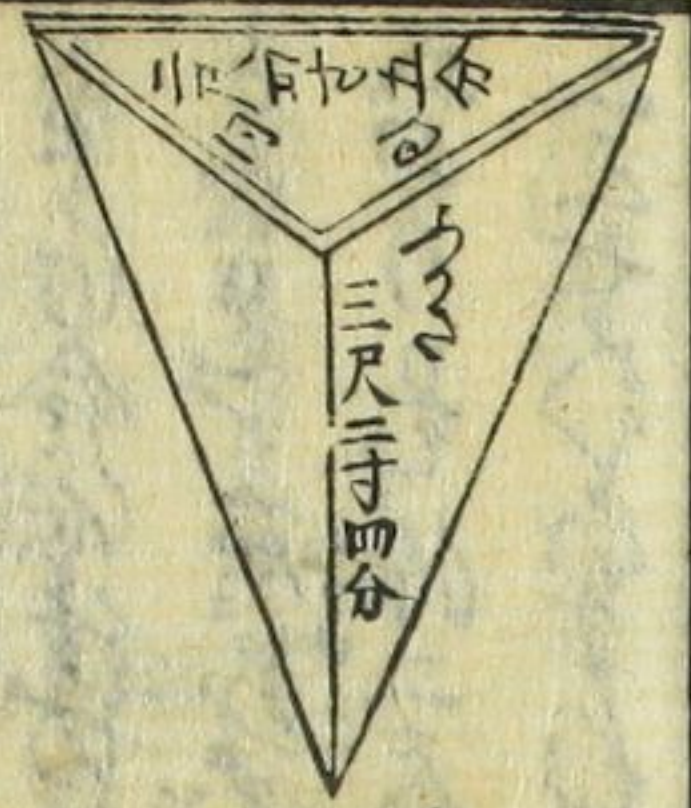
○一斗の箱今様と何箱入の向 答曰



二十七合半一合也
大は八寸五分
そのふた八寸八分
厚は五寸七分
ふたは八寸五分

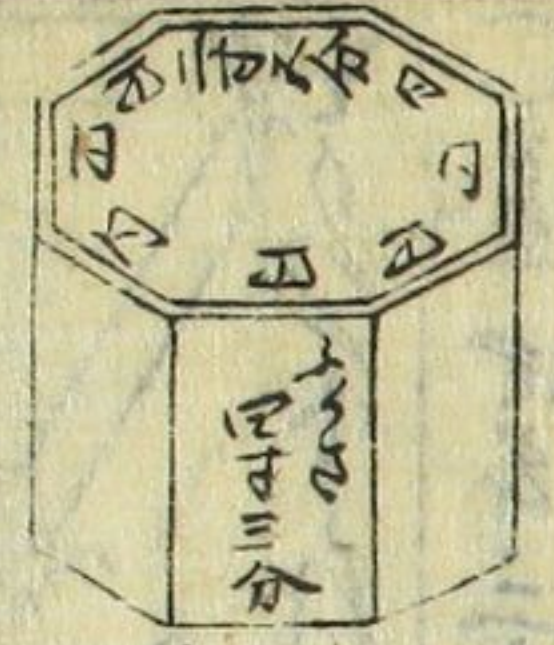
先と五厘のけり合は、
三寸の箱八〇三三三三と、
厚は五寸七分のけり又、
寸の法は、
七合九斗とあり

○二角の箱一斗半一斗三合入



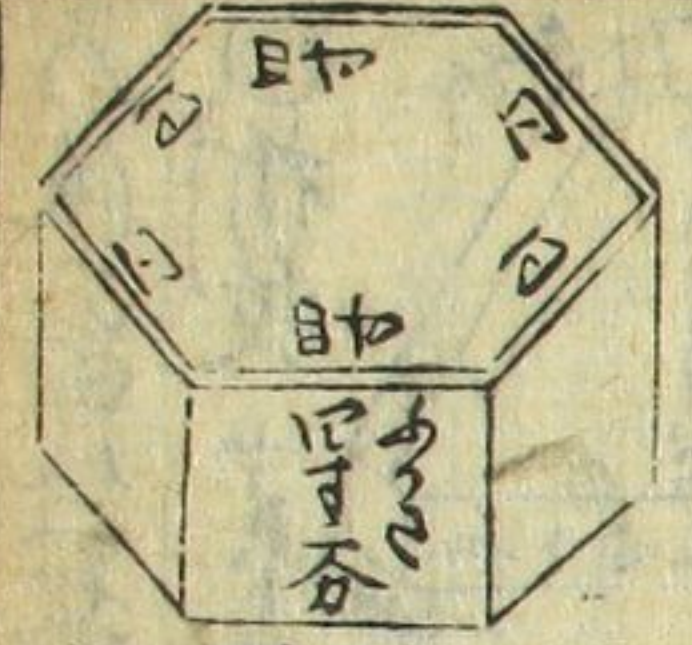
合それ、
寸の法は、
七合九斗とあり

○八角の箱一斗二合二斗五分入



寸の法は、
七合九斗とあり

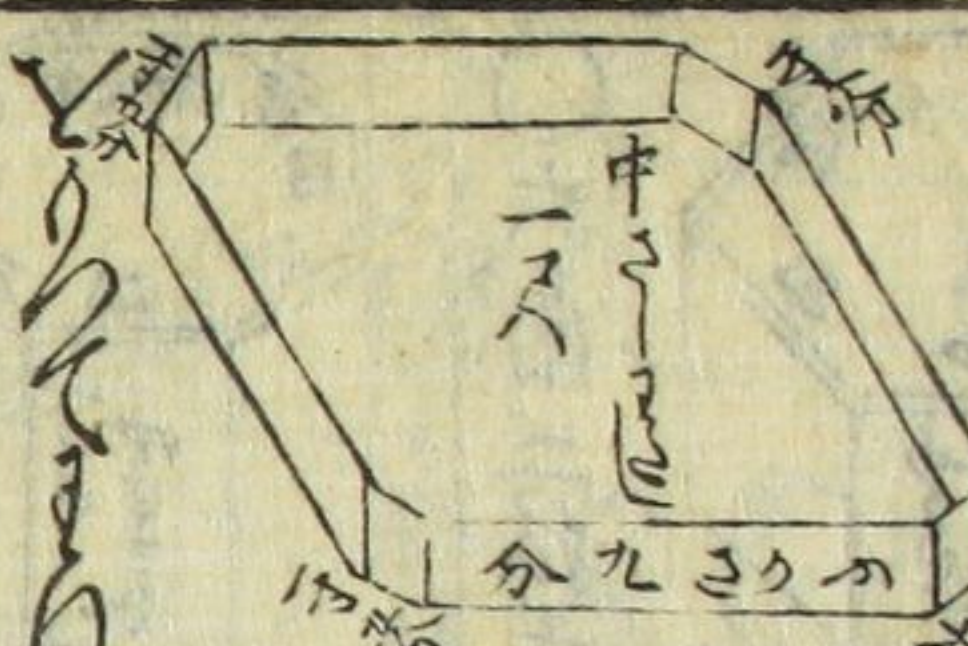
○六角の箱一斗二合二斗五分入



寸の法は、
七合九斗とあり

乃法六寸八二七寸のりし二寸六分九釐三

○折敷 一丈三合又七寸入



中折後一尺八寸又八寸の合百
坪と敷又七寸二寸又八寸
垂りの合二坪二分寸と敷光
箱の百坪の内寸は八寸
九分と後の坪の法六寸八二七
寸のりし二寸六分九釐三

○壺 一丈二寸入 是ハ上二尺四寸七分下



七寸二分入りかたれ坪百
八寸又と敷又七寸又上目
はしり下れ折後坪の
法七寸二分入りは是又
垂りの合二坪の法二寸八分七釐
と敷是とたは二坪と敷合百廿六寸二
尺のり是源二尺七寸のり折敷の法八
二寸七分又二寸のり二坪と敷あり

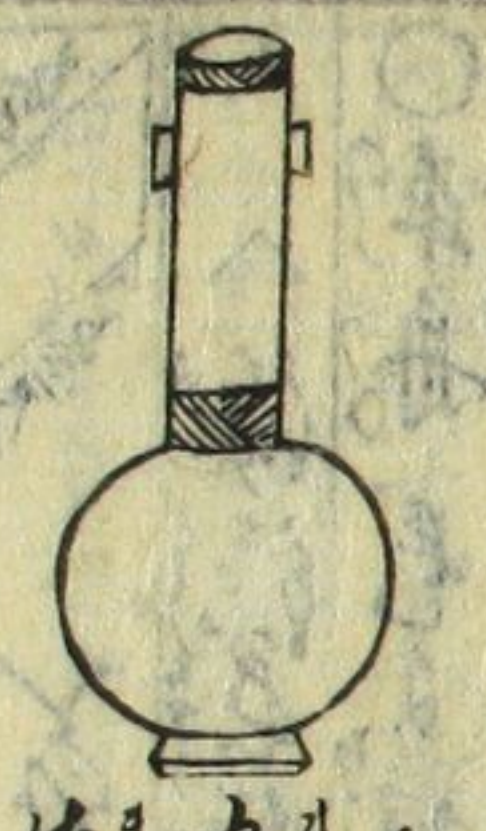
○德利 一坪○三丈二寸入



是ハ折後八寸六分あり
垂りの合三二六寸と敷光
源八寸と敷二尺八寸と敷

是二合法八寸のり三〇七〇寸と敷光法統二寸
のり六寸九〇二一と敷光と坪の法六寸
八二七寸あり

○花入 水二合又七寸九寸入



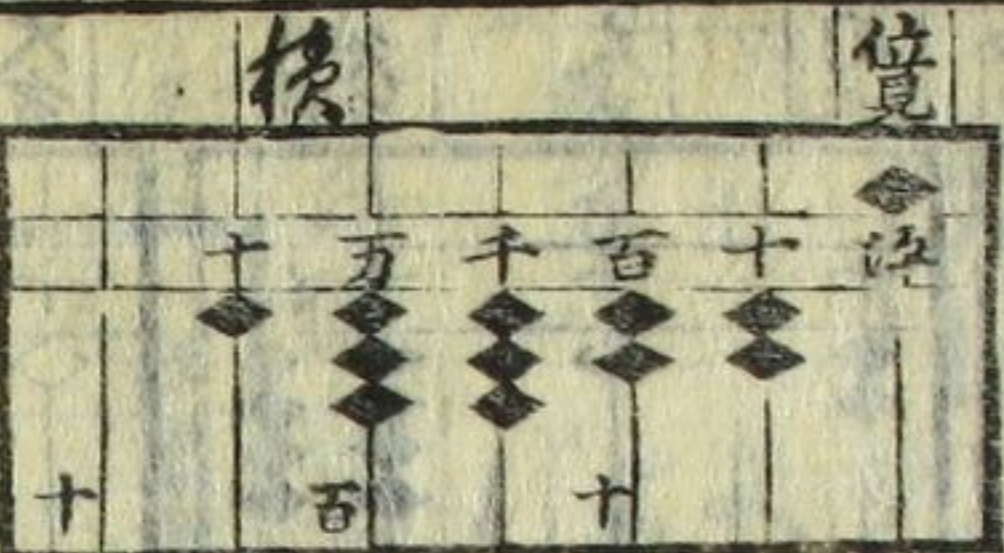
是ハ折後八寸のり寸五分
九寸九寸と敷光八寸五分
光のり二寸二分二寸五分の倍

一七六分二寸五分と敷光と坪の法二尺のり
川の内九寸九分三寸八寸と敷光と坪の
二寸五分八寸と敷光と坪の法一尺七寸二分

○六二五寸の垂又合二寸五分と敷光と坪の法一尺九
寸と敷光と坪の法七九寸五分と敷光と坪の法
是ハ折後八寸五分と敷光と坪の法七九寸五分と敷光と坪の法

上ル附積の以十高し先十百定方となり
 一十百俾積より上へ月付て十百も大
 方より下へ流して十百俾ありたり過て大
 方九十も倍して廿百と懸それと同安
 あり流す十百俾なり一桁割る大方十百の流
 今二百より下へ流すは俾あり今之二百と九
 十九と二三百俾ありは廿二百と九十九

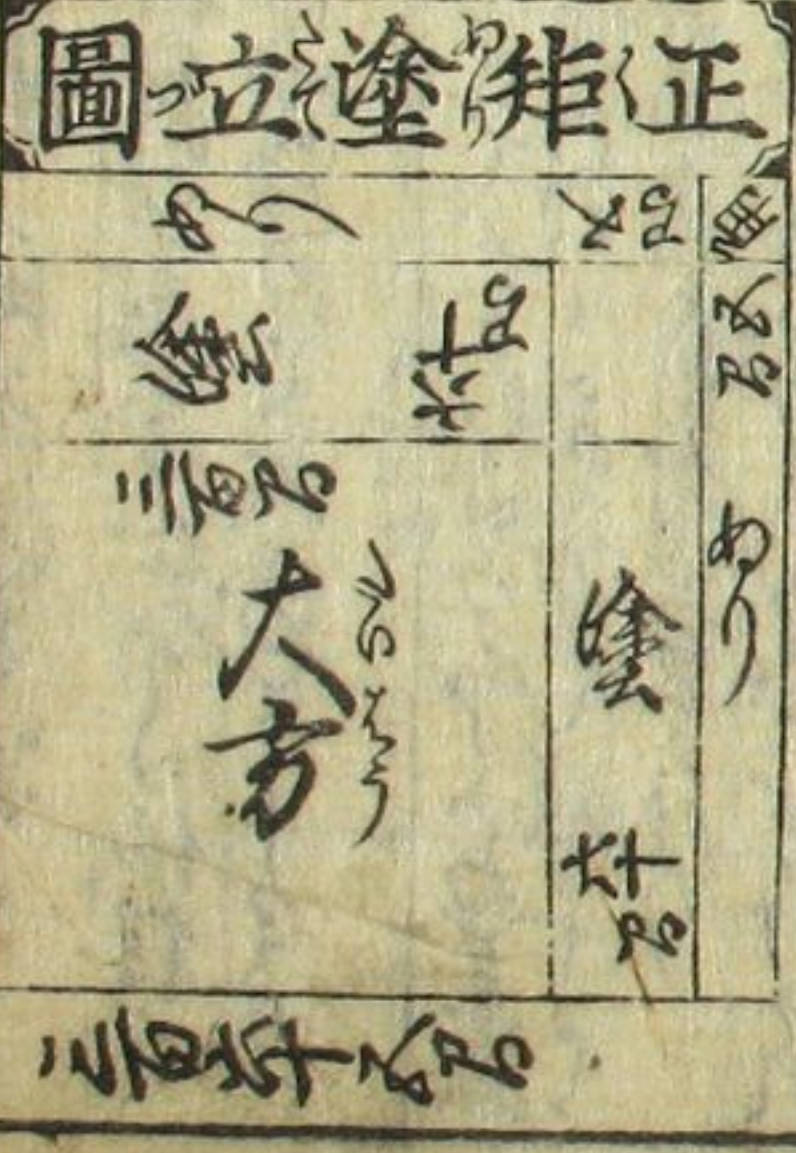
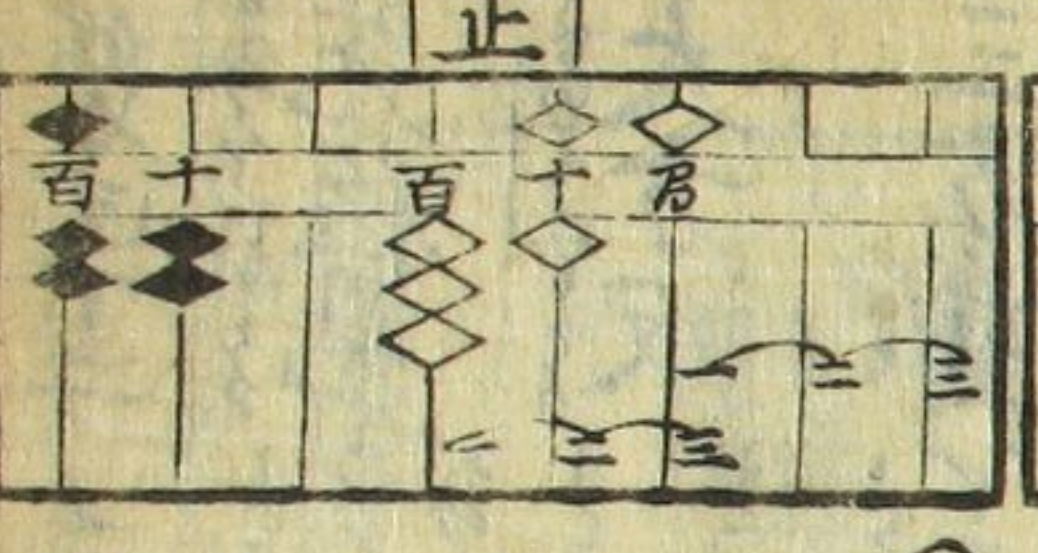
〇積十三方二十百俾と定方ありて
 二百六十又ありある
 積より懸位より附され位は
 百の位より定方同定方ありては
 百十六方俾ありありは二百間
 定方九也三三九方俾積より
 割るは八二百と大方とある
 流して定方二十百俾あり後の場はあり
 大方九二百と倍して六百とあり過て
 懸それと同安ありて流すはなり



割時大方二百りの流し今又千
 百よりその千百より九九十九と
 六百俾下より流すは三百俾と
 あり流して千六百俾五俾後の場は
 ありあり
 大方二百り月流し今之千百と
 倍し百俾ありたり同安ありたり
 七百千百より流して流すは三百千
 又俾なり一桁の附二百千百
 り流し今又又百より流すは
 九九十九と二百俾下より流
 して三百六十とありあり

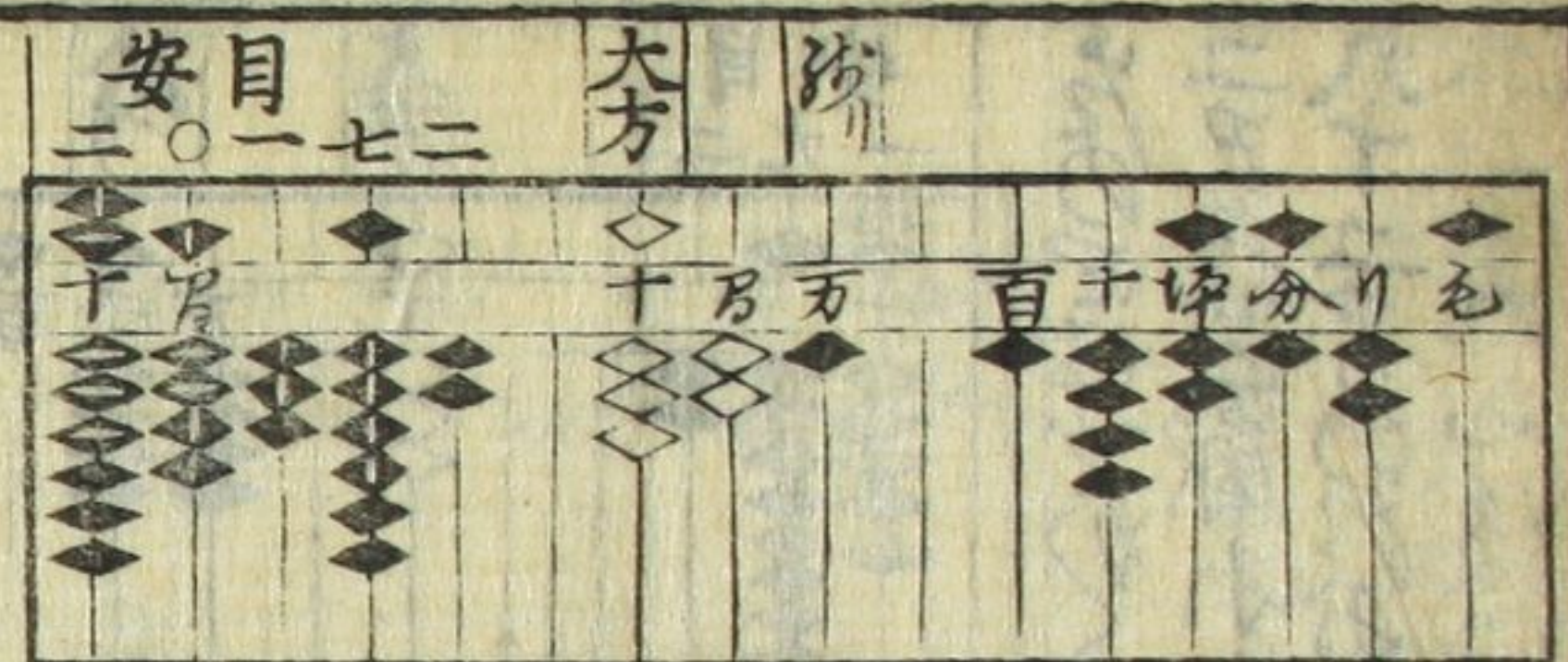


大方二百り月流し今之千百と
 倍し百俾ありたり同安ありたり
 七百千百より流して流すは三百千
 又俾なり一桁の附二百千百
 り流し今又又百より流すは
 九九十九と二百俾下より流
 して三百六十とありあり



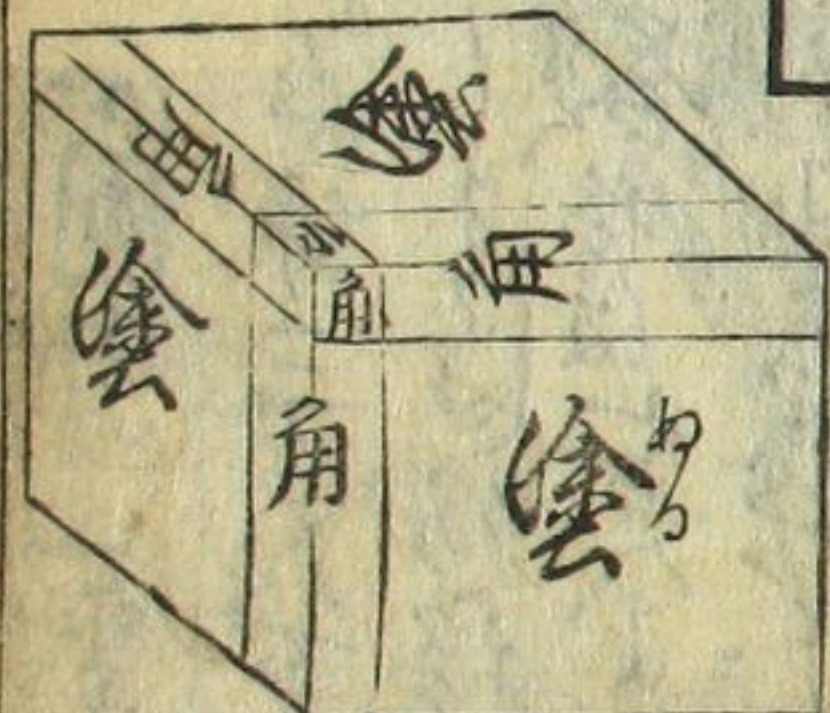
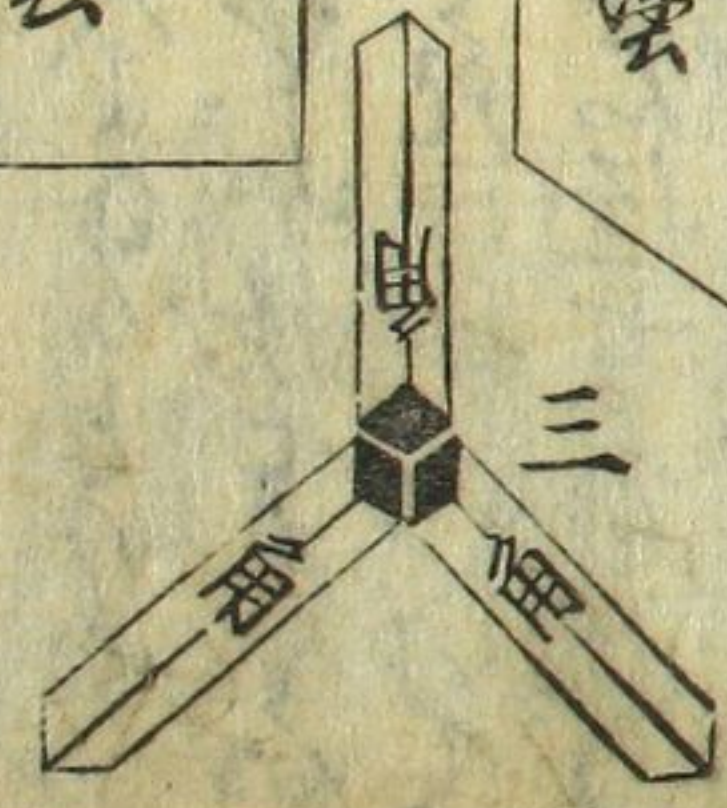
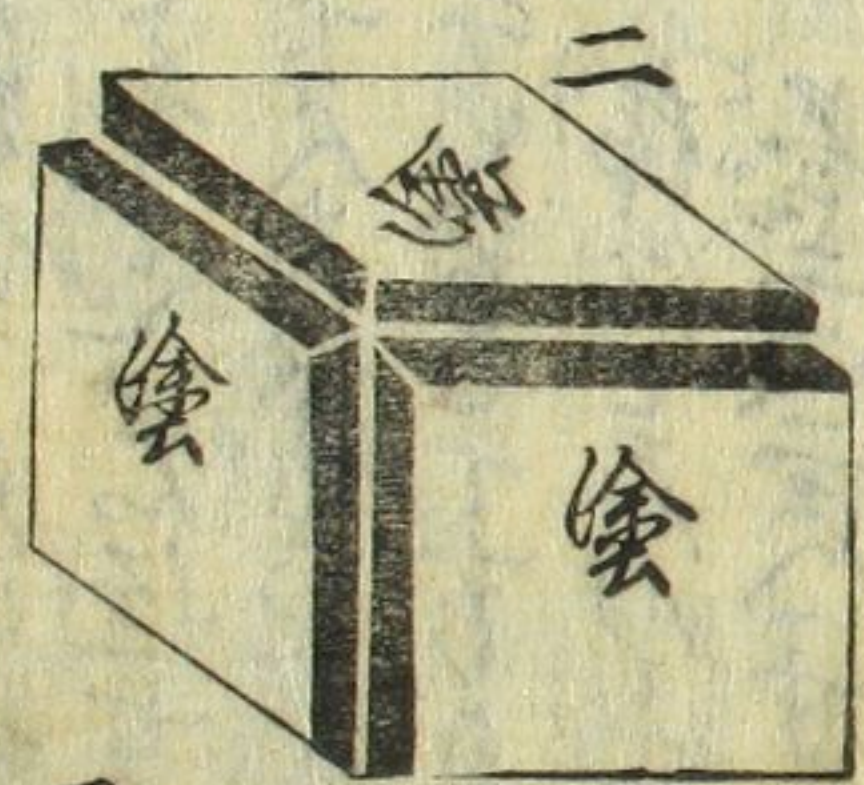
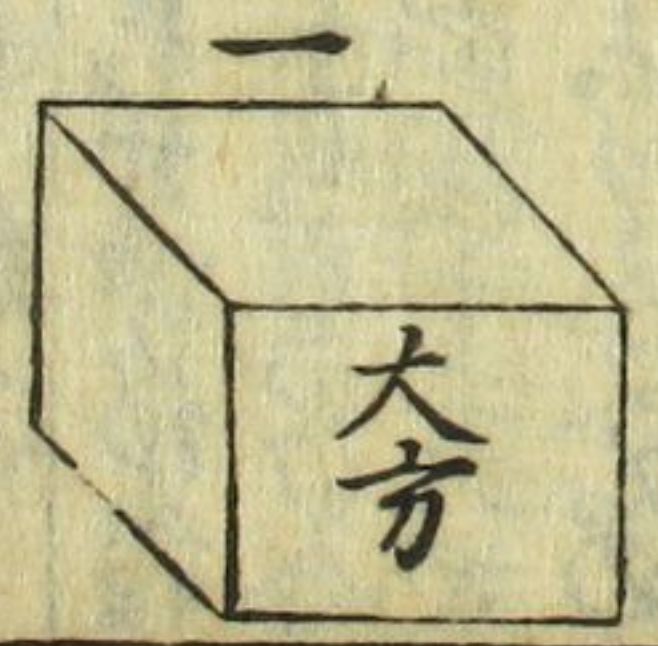
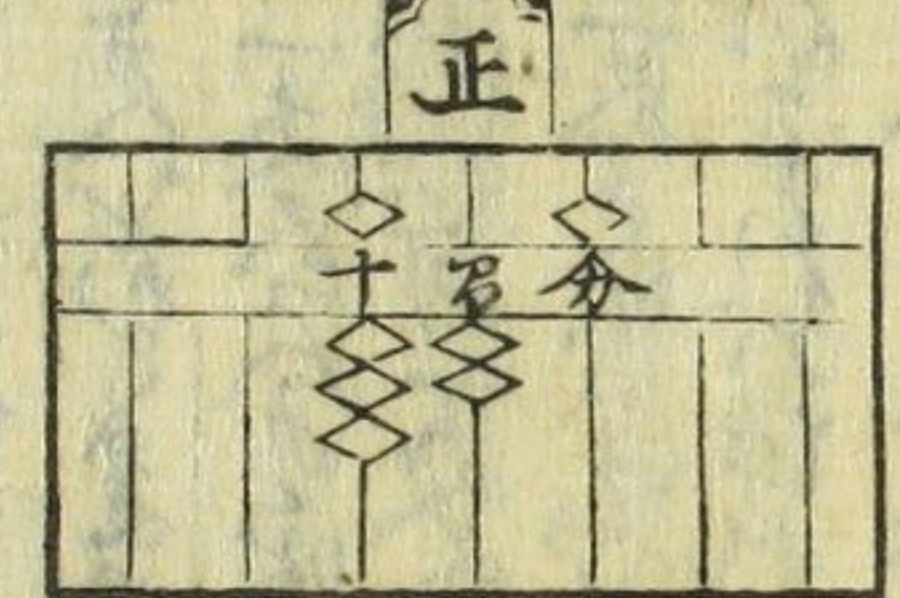
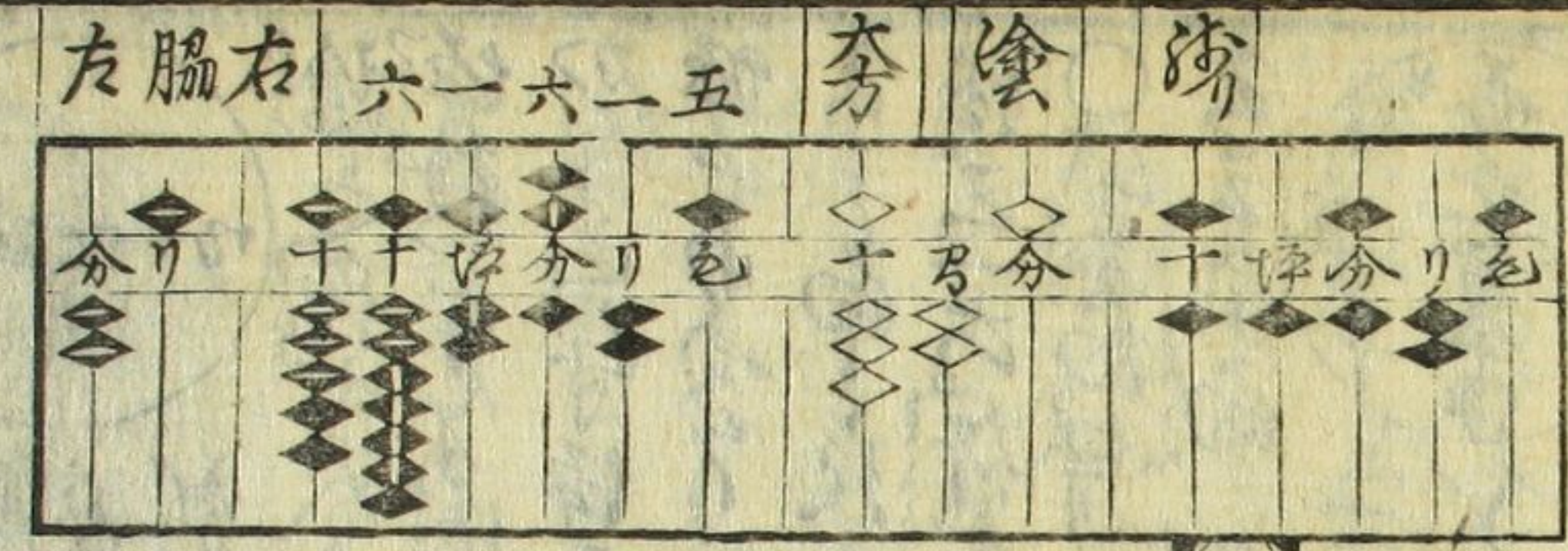
三百六十とあり

川田村



▲上は八十二万の次は後五中万と五五万
 又りつるに返して左ふ通又右にけり
 之八十二万と通それれは三万のり又はの事
 万と加三百六十万とある事あるは是にたの二分
 ありとかくは百一十一坪六分二りあると加
 是の中は九三萬と小角下はははは
 又後の事あり

引くは八十二万と見ゆるなり



正切成規之



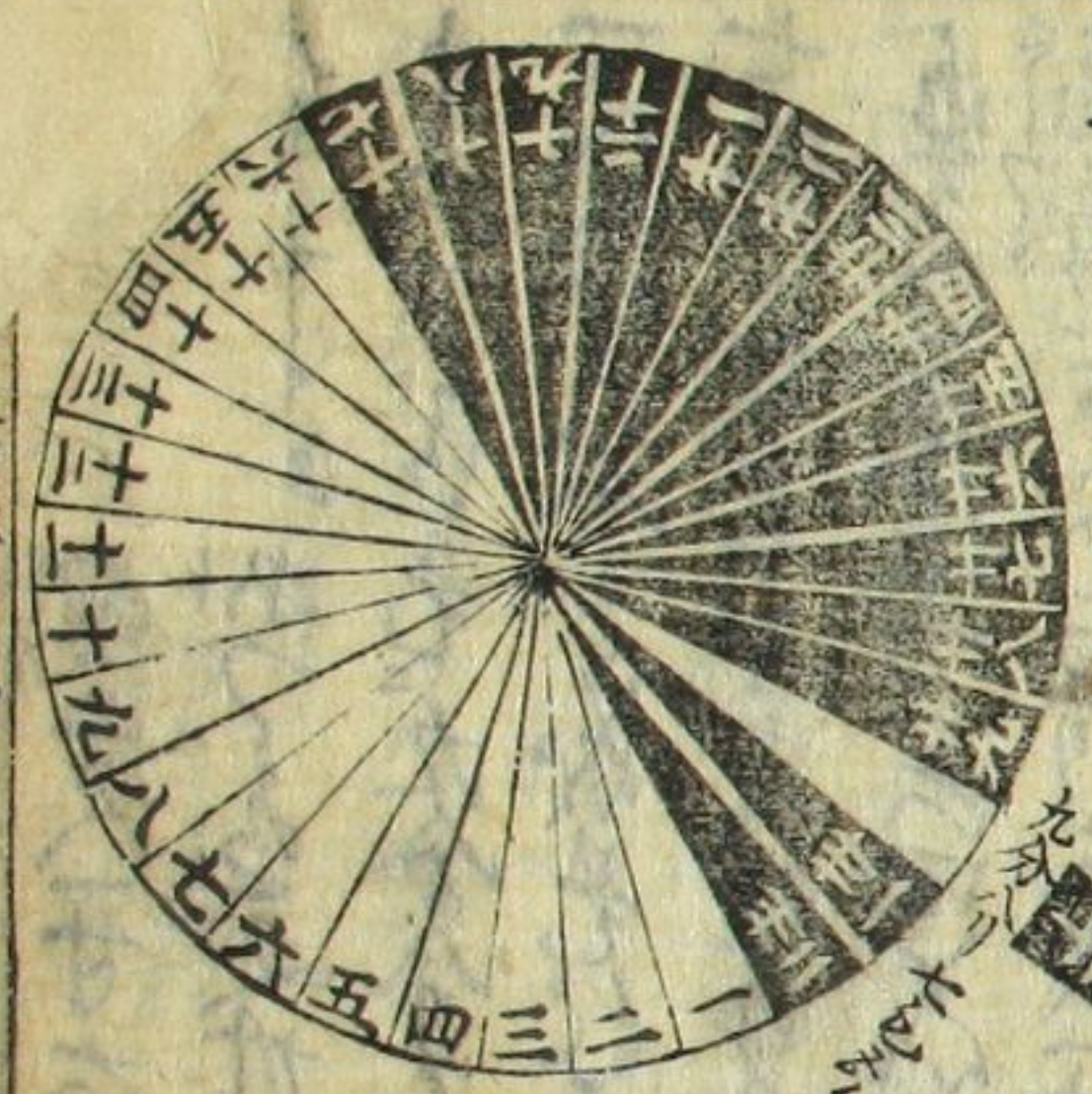
十三 正圓術 軍軍法

○一寸四角九平坪三子八百七十一是と云
 丸の中心より半径七尺とあるは



答 半径七尺とあるは
 形は丸の坪と云はるは七尺と云
 割の増と云はるは七尺と云
 除の徑七尺とあるは
 坪の寸法は七尺とあるは
 坪の寸法は七尺とあるは
 坪の寸法は七尺とあるは
 坪の寸法は七尺とあるは

○一寸四角九平坪三子八百七十一是と云
 答 半径七尺とあるは
 形は丸の坪と云はるは七尺と云
 割の増と云はるは七尺と云
 除の徑七尺とあるは
 坪の寸法は七尺とあるは
 坪の寸法は七尺とあるは
 坪の寸法は七尺とあるは



又と云はるは七尺とあるは
 答 半径七尺とあるは
 形は丸の坪と云はるは七尺と云
 割の増と云はるは七尺と云
 除の徑七尺とあるは
 坪の寸法は七尺とあるは
 坪の寸法は七尺とあるは
 坪の寸法は七尺とあるは





○上一文字二寸 下一文字一寸三分 〇らく一寸六分

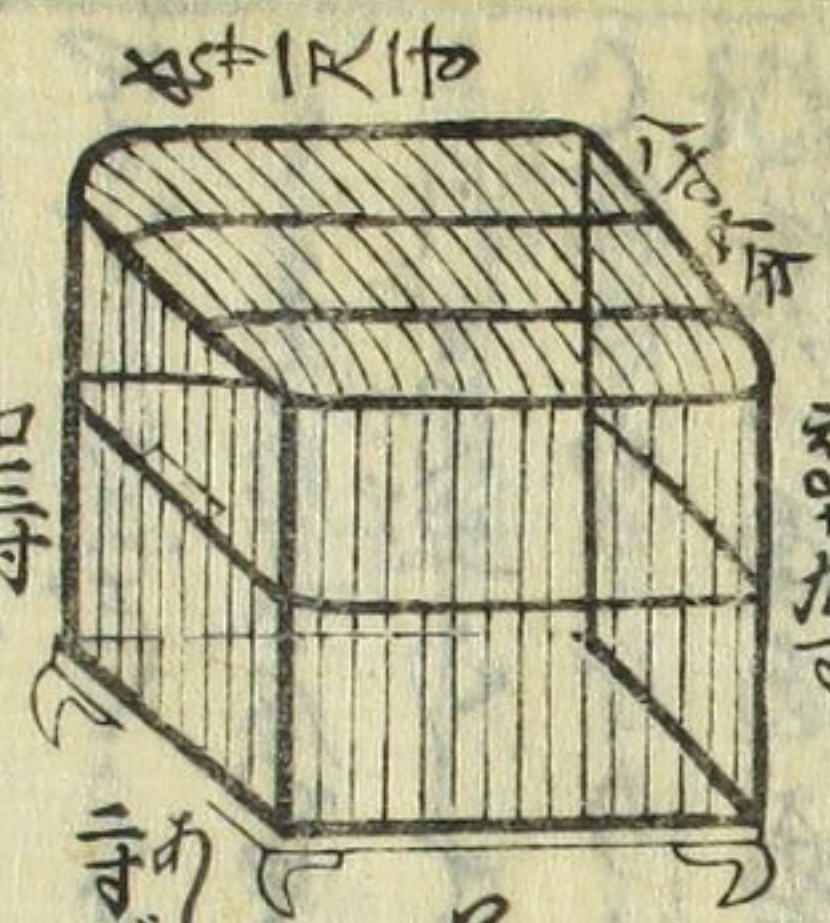
○いりの和衣より新筆の志は二ヶ一よ
 して紙の内き下と表を何れも何れづと
 各新筆拾合紙内き二尺七寸七分リを
 同横一尺二寸七分と一尺二寸一分リを
 下六寸二分分り。上中文字一も。下中
 二寸八分八リ七毛。上一文字一寸一分分り
 〇下尺七分半。西脇二分分り六毛。〇らく
 九分リ定毛



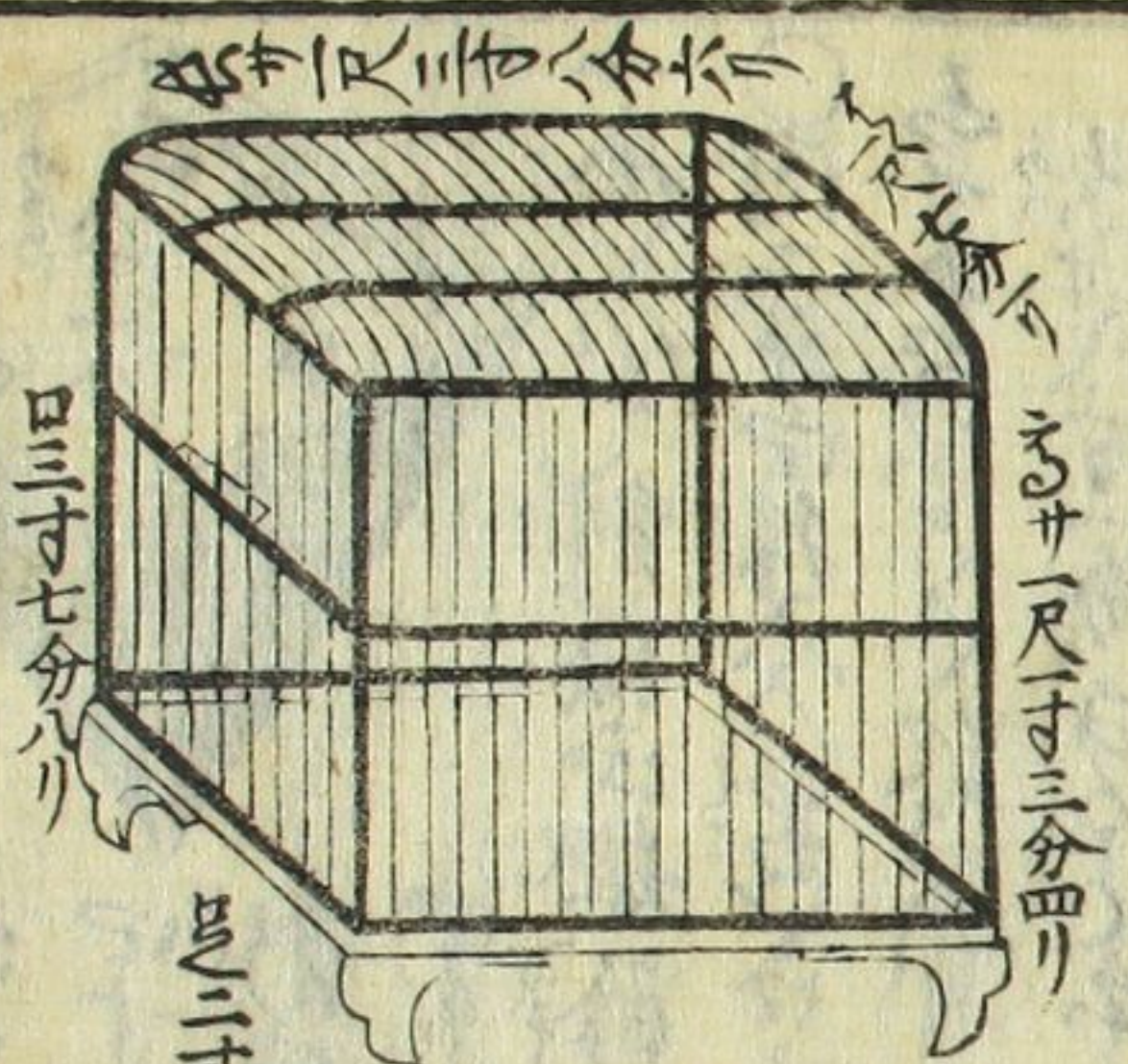
新筆
 二尺七寸七分
 一尺七寸七分
 一尺九寸

○いさかど長一尺一寸と八寸八分を九寸
 口廣二寸五分と二寸五分今一つは拾合作ら

と尺四のり二倍ありて八寸八分を
 りも何れも何れも何れも何れも



長一尺二寸八分分り
 一尺七分分り
 各 一尺二寸三分分り
 口三寸七分分り
 口三寸五分分り

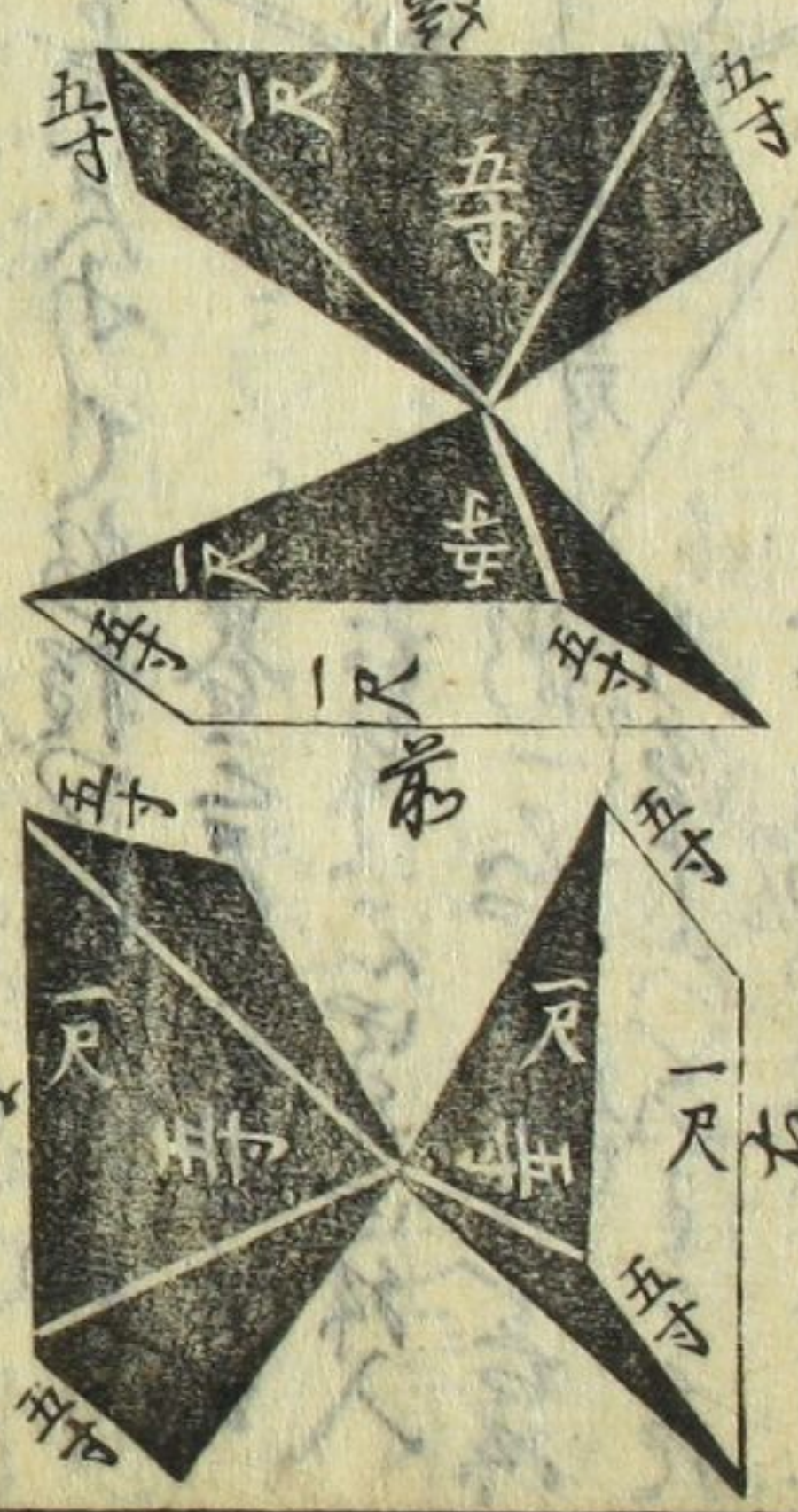


長一尺二寸八分分り
 一尺七分分り
 各 一尺二寸三分分り
 口三寸七分分り
 口三寸五分分り

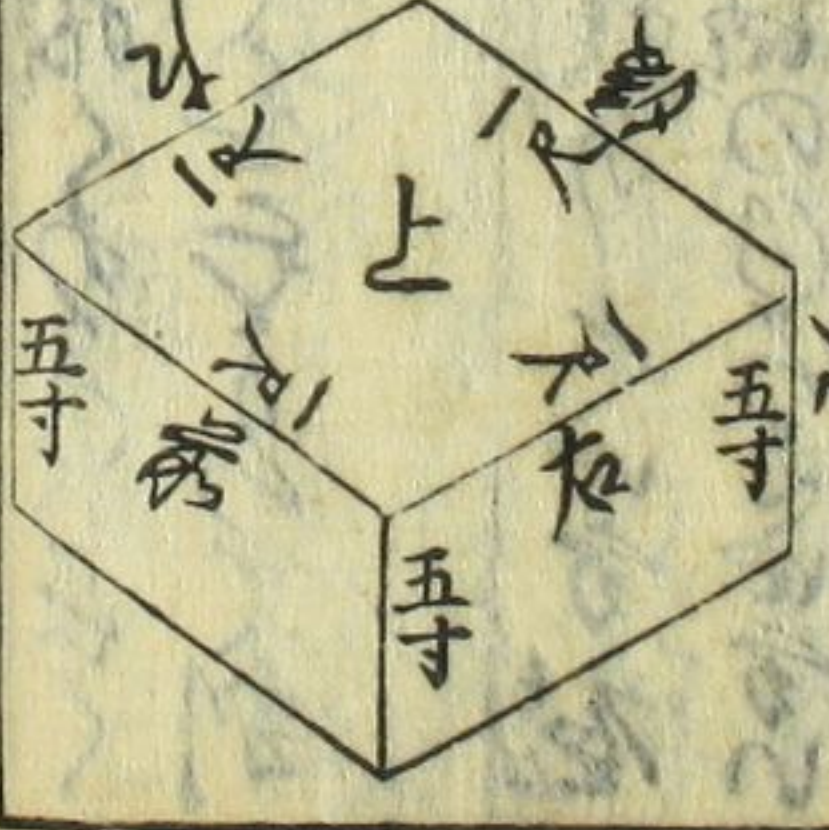
○京師二尺四寸入の箱は源八寸一分
 牙字十六 統制 并法二の箱

統の深みすめりて中より二つ割
 るに二尺四方を又すつて先は統三
 るより二尺四方を又すつて先は統三
 との統統三つ割つて此統三
 中より起ると又二尺四方を又す
 それを統三倍してこの後六尺の統三
 とも先統法おとりなり

圖碎三統濟

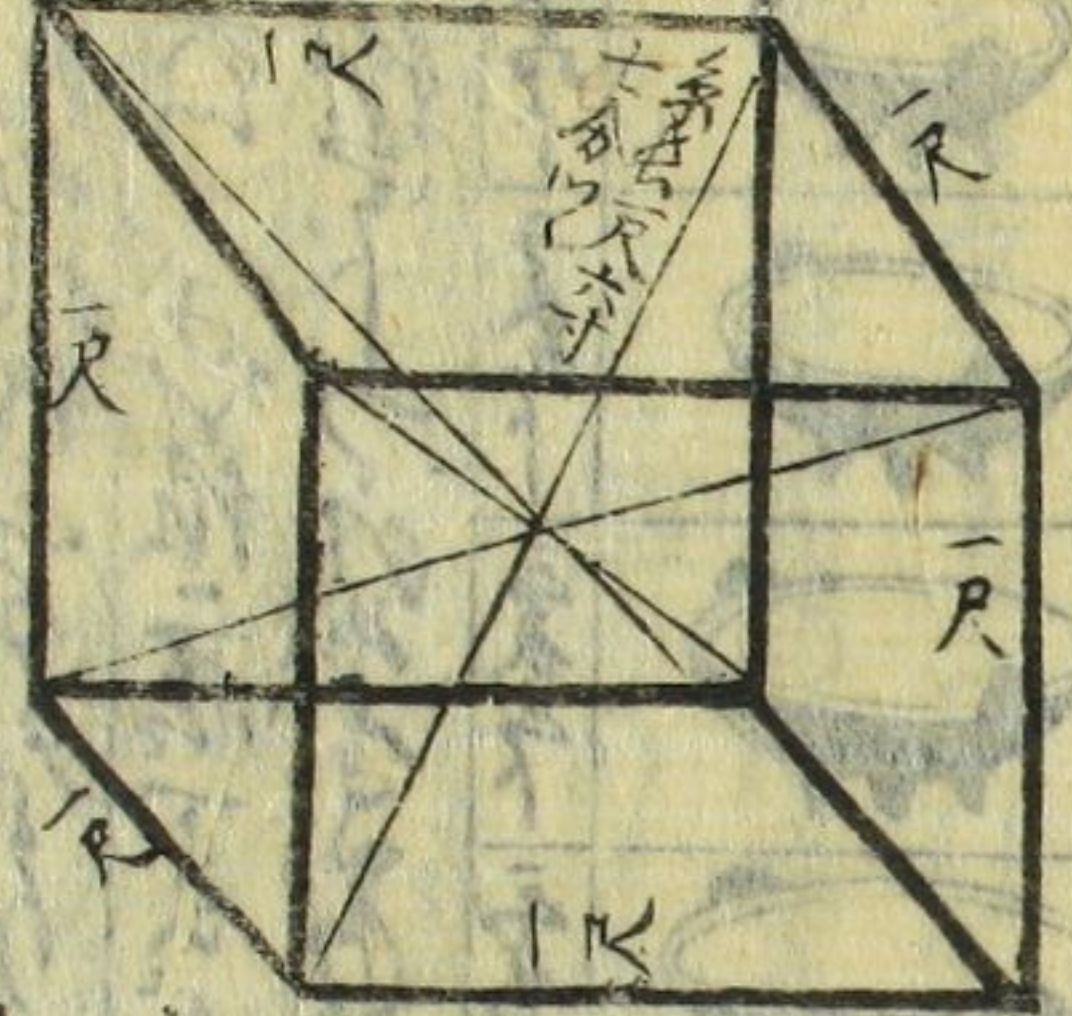


圖合三統濟



又は重なり合ふるもの三三三三の
 ても同じ横あり是の二尺六面の横あり

圖明統濟



下の面は二尺六寸の
 下は角へりらる
 下は角へりらる

神字十七 入子算入り

○又つ入子と統三
 一より下り二より下り三より下り
 同いなり二より下り三より下り
 下りありてその代は何程と向

廿八十八人ノ歳数トカケル

○子共十二人の年数合二百廿五歳
より男二つら女の次男より三男二つ
ら女の二男より三男二つら女の二つ
遠の二つら女の二つ又二つら女の
二つ一つ遠の二つ又二つ遠の二つ
男ら女の二つら女の二つそれより末
子のみ遠の二つ又二つ兄弟の年数はいふ
又事ありしつゆかといふ
兄二十一歳と答 弟男九歳 兄十三
三男六歳 弟男三歳 四男廿三歳 三男二つ
又女二十一歳 弟女二つ 六男十九歳 又女二つ
七女十七歳 弟女一つ 八男十六歳 七女二つ
九女十八歳 弟女二つ 十女十一歳 九女三つ
十一男八歳 弟女一つ 末子二歳 十一男三つ
先年約二百二十有る年数兄より次男
のら女の二つ一十一と女の二つとあるを

くま又その遠の二九と一の九十八を
加へると三十二とあるを又七十七とある
を又三十二との二つは三十三とあるを
遠の二つを合しつとあるを三十二と合
三百七十五とあるを三十二と合しつと
三十一歳とあるを三と合しつとあるを
川のめんくろ年数あるを三十二歳と合
才年九 總の歳数別符のり

○年数百八十三歳とあるを三十二と合しつと
と兄の二つより弟の二つを合しつと
付百指とあるを三と合しつとあるを
ふひと合しつとあるを三と合しつとあるを
兄 武拾とあるを 弟男三歳とあるを
三男三歳とあるを 四男三歳とあるを
又女三歳とあるを 六男三歳とあるを
七女三歳とあるを 八女三歳とあるを
九男三歳とあるを 十女三歳とあるを

十一男二十二女又百回 鞍子二箱二百半目
先百箱又十一男六女と先是別を費
目付十女つ見より次男は八女とあり
ゆえ兄弟を費目と右並に置九百九箱
目左より三男九百半目より四男九百
七箱目より八女九百半目より九女九百
口合十一男二百半箱目五先目安はては
箱二百半三男又百目より四男の先を二箱
又費目とあり先九百九十月より百六
男は先あり又兄弟の先九百半目より
三男三男の先分とあり又先九百半
より兄弟の先分とあり先九百半の先分
先分
道中荷物人足別より

○系より信屋より七百二十里の先
十六箱の人足分より日数十二日
乃ち先より二人付る事何程の体
あり又二日の内何程何所目よりあり何
程もろくに指合をぞとあり

答一人付る事廿女半三男より一日乃
日二里つてありとあり
先箱は十六箱は百女半より八女半
され一人付九女半箱の先とあり先
百千里の内より沙女半箱先一人乃体
あり先十二日より百二里つてありて
ありとありとあり

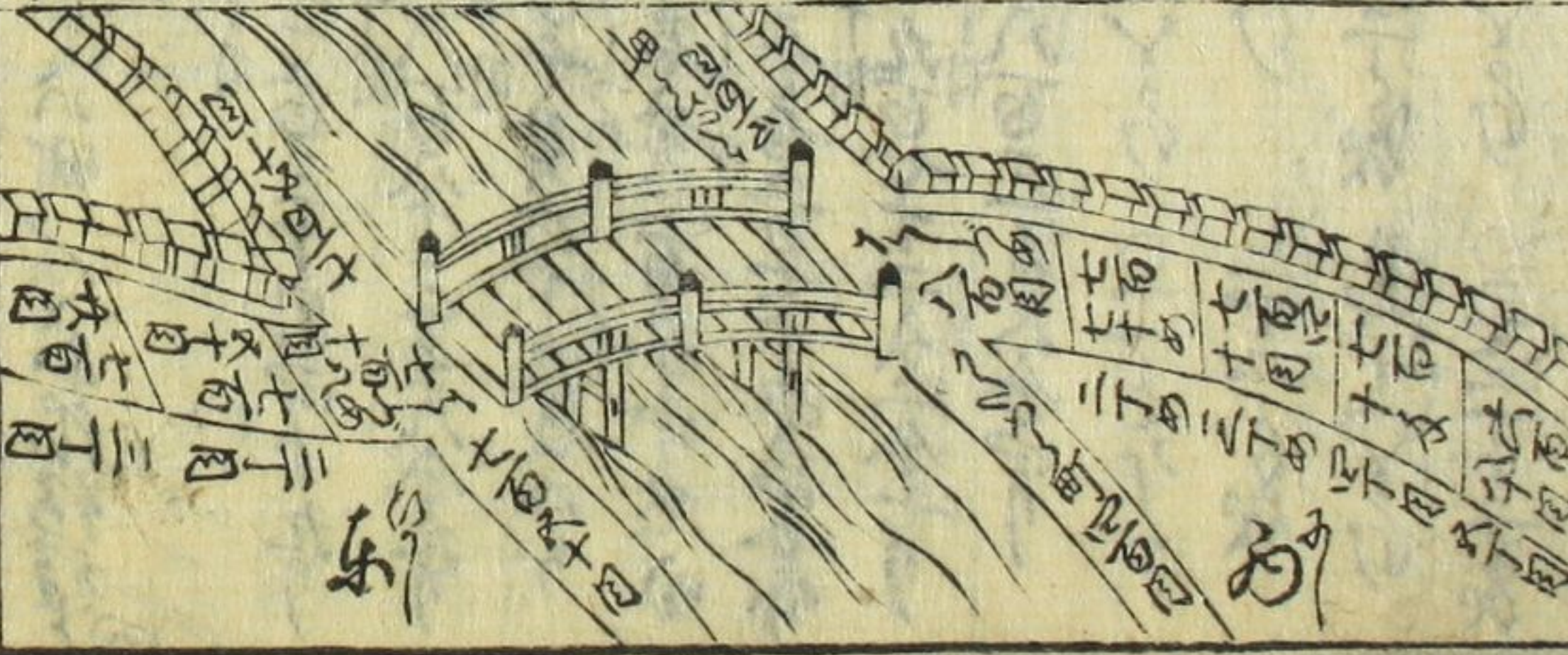
第五十一 鉄炮系源と事

○鉄炮の系女三費目三箱内門一箱六
分は六十箱一箱を又一分は二十箱一
百を下り一箱一箱又女半あり右何程
一箱付箱何程つら横ありて系何程
つらとありとあり

- 一箱八分は十箱 又費目百二十目
- 一箱一五分は十箱 二費七百九十九
- 一箱一五分は十箱 二費百八十五

八丁此方末二丁此方六百六十丁及び分りと
 是三十一丁の流中くは八町までくわてより
 あり又あふ丁此方八丁目の方別は
 格つめのあふ六丁目又あふ丁目あり

○格二ツ乃八目格三
 百卒目と町中今より附
 格より西通町八丁と
 丁五町格合十二丁と
 右の格お付先は格倍と
 左の格お付先は格倍と
 又丁まで八流中二十目
 づより出て出川系
 町二丁の格つめあり
 中おつあり又ひこれ
 格つめありはあり

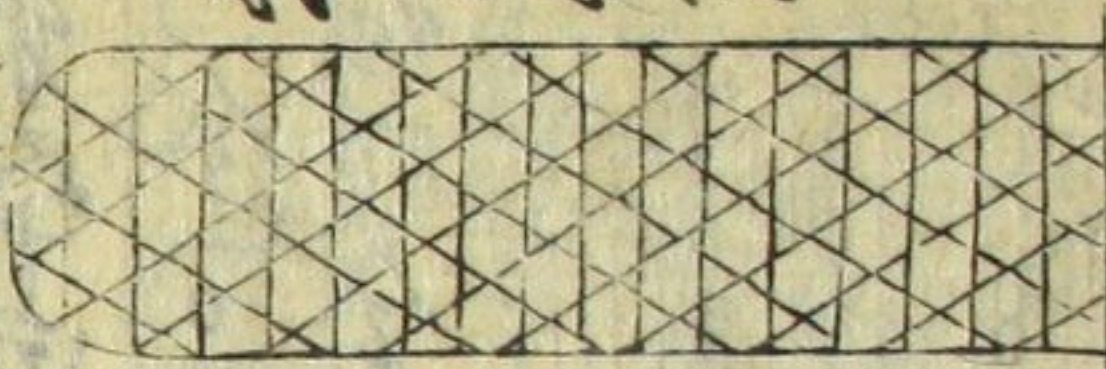


ありより二格目とくありこれ分
 流中格目つ末二丁と八丁とあり
 町二丁の格倍のありは是と二十目づ
 かりておと候ありてつりまを何程づ
 小ありとくとの

西格倍八百目 西原町百目づ
 同二丁目七百七十目 同二丁目七百七十目
 同二丁目七百七十目 同五丁目六百八十目
 東格倍七百八十目 東横町七百八十目
 同二丁目七百七十目 同二丁目七百七十目
 先あり方二二に東二又横町二是合十二
 五是は此目かくは百八十目と候是は
 是は八百八十目と候是は又の一町格倍
 廿目かくは百八十目と候是は格倍とくむ
 三は合八百八十目と候是は又町格倍十二丁
 五は合八百八十目と候は八百八十目と候是
 是は流中あり右町格倍十二町と十二

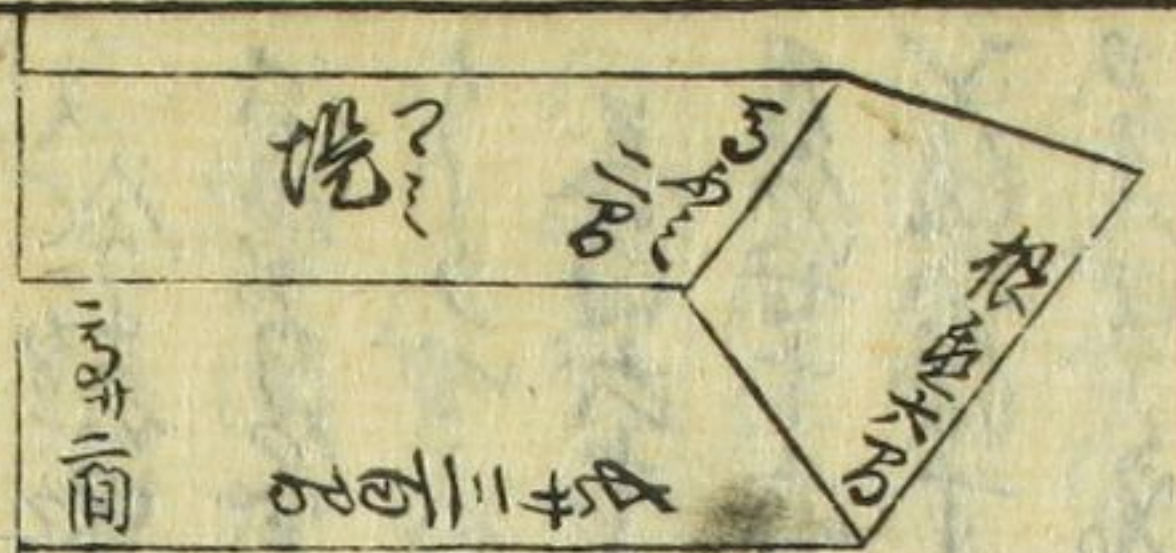
第五十五 日蛇終る事

○日蛇終る八日ありて
 二寸七分ありて終る事
 答曰一坪合八夕
 術曰日廻り之周法三二六より
 又六又寸はく割ハ五分と加
 くり合合八日ありて又周法
 七又九より合八坪合八分と加
 日一丈二寸七分



第五十六 地積り之事

○地積り二百ある備二万根
 積六万ある二万ありは坪をす
 何程とす
 答曰二千四百坪 術曰二万根
 二万根根積六万と合二万より
 一より合六万と合二万あり
 又三万ある二万二万四百坪と加
 第五十七 同方之積り事



○今去二千四百坪あり地より付合三百
 坪と積二万根積六万ありは坪をす
 何程とす
 答曰二千四百坪 術曰二万根
 二万根根積六万と合二万より
 一より合六万と合二万あり
 又三万ある二万二万四百坪と加
 第五十八 同方之積り事

○今二万四百坪あり地につくはる積二万根
 積六万ある二万ありは坪をす何程とす
 答曰二万四百坪 術曰二万根
 二万根根積六万と合二万より
 一より合六万と合二万あり
 又三万ある二万二万四百坪と加
 第五十九 同根之積り事

○去二千四百坪あり地につくはる積二万
 根積六万ある二万ありは坪をす何程とす

答曰根重なる術曰長二百百の二万
かまひ九百坪と如是は法少くして五坪倍
してまれば七万となるは内なるも門の根重
又るともあり

中六十 同馬端之妻

○今三二千坪を境あつて時廿百五十坪
を井田の根重七万にしてはる備何程と
答曰るも二万 術曰長百五十坪の二
万もかまひ六百坪と如は法少くして五坪
倍一六千坪とならば廿百五十坪とあり
内根重七万にる備二万とあり

中六十一 同根重なるも

○今三二間根重なるの境あつて時廿
坪の二万にる備何程と
答曰るも二万 術曰長百五十坪の二
万もかまひ六百坪と如は法少くして五坪
倍一六千坪とならば廿百五十坪とあり
内根重七万にる備二万とあり

中六十二 同根重なるも

○今三二間根重なるの境あつて時廿
坪の二万にる備何程と
答曰るも二万 術曰長百五十坪の二
万もかまひ六百坪と如は法少くして五坪
倍一六千坪とならば廿百五十坪とあり
内根重七万にる備二万とあり

中六十三 同根重なるも

○今三二間根重なるの境あつて時廿
坪の二万にる備何程と
答曰るも二万 術曰長百五十坪の二
万もかまひ六百坪と如は法少くして五坪
倍一六千坪とならば廿百五十坪とあり
内根重七万にる備二万とあり

中六十四 同根重なるも

○今三二間根重なるの境あつて時廿
坪の二万にる備何程と
答曰るも二万 術曰長百五十坪の二
万もかまひ六百坪と如は法少くして五坪
倍一六千坪とならば廿百五十坪とあり
内根重七万にる備二万とあり

答曰六寸非 仍曰根重なるは月さる
 二寸より少り二寸より三寸より一尺よりなる
 是よりさる二寸より少く割る寸非なる
 算六十六 同寸 算本法積のり



○さる二寸根重なるは
 二寸半は地をいさす 仍根の
 答曰さる二寸
 仍曰根重なるは月さる
 二寸より二寸より割る二寸半と
 あらわの合二寸二分なりと成る右に重〇重
 二寸半より合六寸二分なりと成る月さる
 二寸二分なりと成る月さる用本法積る
 算六十六 同寸 用本法積る

○さる二寸根重なるは月さる二寸半の地をい
 仍根とさる 答曰重り二寸半
 仍曰根重なるは月さる二寸半と月さる二寸半

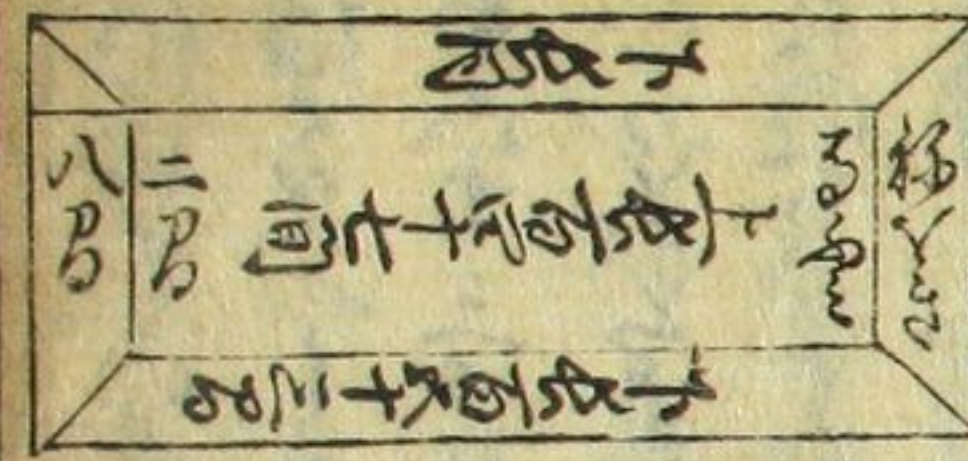
二つ小割ハ一尺半と成る右の合二寸二分なり
 右に重なる二寸半と根合二寸半と右に重なる二寸半二
 分なりと成る算本法重りと成るあり

算六十七 同根重算本法積る

○さる二寸半二寸半重二寸半は根重なる
 答曰根重なる 仍曰さる二寸半と右の合二寸半
 と成る右に重なるのりし根合六寸二分なりと
 あり右の二寸半より少り二寸二分なりと用本
 算二寸半と成る倍一三寸と成るさる踏
 三寸と成る根重なると成るなり

算六十八 地小重なるは月さる換のり

○今地をいさすは地をいさすの長
 算六十七同下長百六十二寸半は
 二寸根重なるは地をいさすと成る
 と成る換一尺二寸半と成る二尺二寸半
 何程入るとい 答曰二尺九寸
 九百六十二根二二二二三三三三



佛曰前の地乃佛の堂りふらつとる
 極るふと二万枚極八万上百万千七から下
 百万千三万口合二百万十間と極先は堂
 六百廿六千六百六十坪と極右極又
 上の百万千七百にる踏二万から六百九
 坪と極右極八万八千八百千坪とらり
 是に平極法二二八から百万千七百七十
 九万・九百歩と極先と別と右極極芝の
 幅一尺三寸に長一尺六寸から百万千九
 十歩と極法から右方外は極
 二万九千九百六十枚二分二二三とらる
 中六十九 地人足極あり

○去る方八千二百十坪と毎日八千二百人
 かりて三町は除分二坪と三百七十
 六極あり又一日に六里あり極ありて八
 日敷何程とらる
 答曰日敷百八十八日二町八分三三

佛曰八百人六里と極二千里と極先
 又二里の法二十六町と極八十万八千町
 と極先と法ありて左小極極極極あり
 八千二百十坪に二坪の極極二百七極極と
 八百八十六万〇七千七百八十極と極先
 二町と極先と極極二万〇〇二方二千町と
 あり是と左の法あり割八十八千六百七三
 と極先と七三二とあり小六町と極極と百
 八十八日二町八分三三とらるあり

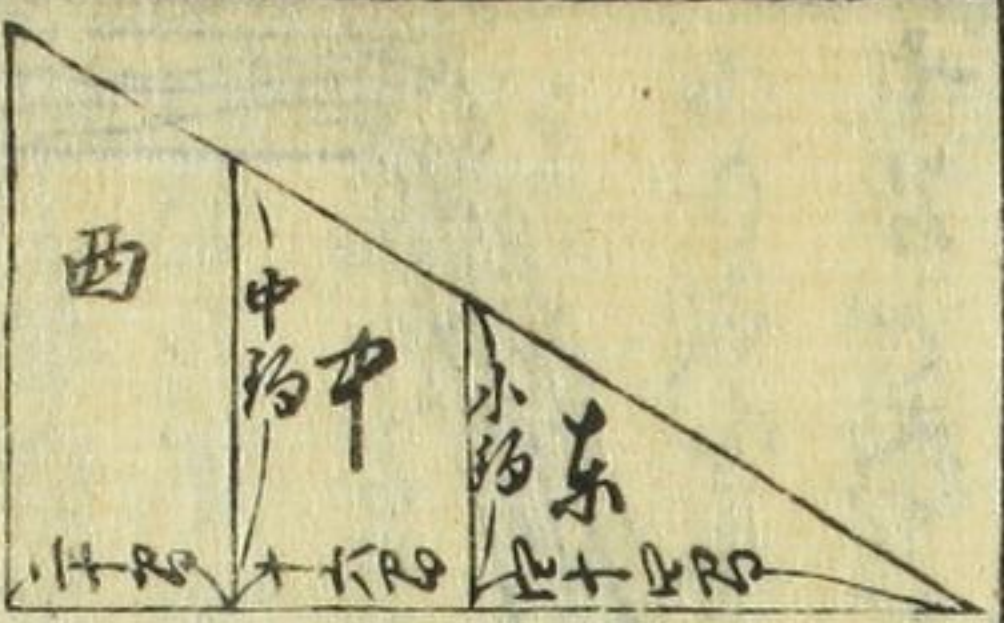
○去九百七十八坪と極八町ありと又八町
 ありと二町ありと極ありととらるあり
 一所小極極極と極先と極の法は極と極
 極と極と極極ととらる

答曰 八町と方 去二百七十八坪
 五町と方 去六百坪

佛曰二坪と六丁と割八二と極先と二丁と
 方割法とらる〇又一坪と八町と割八二五

先一人の持数八百株を分るは又百十二方と
 かの持股の株二千四百株を割る二百五
 三株二二三二二二と用平法(東)方百十六
 間一分八八〇三と先は約六十方とこの股半
 万中を割る内は約二十七方六二〇二と先
 又中と先は約二千百廿二株二二三二二二倍
 しく字子二百六十株六六六と先は用平
 法六十方三分一九七二と先は内(東)方百十
 六方一八八〇三と内は約中格九方一二一六九と
 あり又先は六十方二一九七二に約六十方掛
 股八十方に割る内の中格百十八方九九〇三
 と先は又股六十方内右の六十方二一九七
 二と内は約方と先は

○同約六十方股八十方先は約二二二
 後を内(東)方百二十方株後一十八六百
 二十方株後一又先の方八千〇二十方株後
 先は約中格中格切後と内(東)方約は約



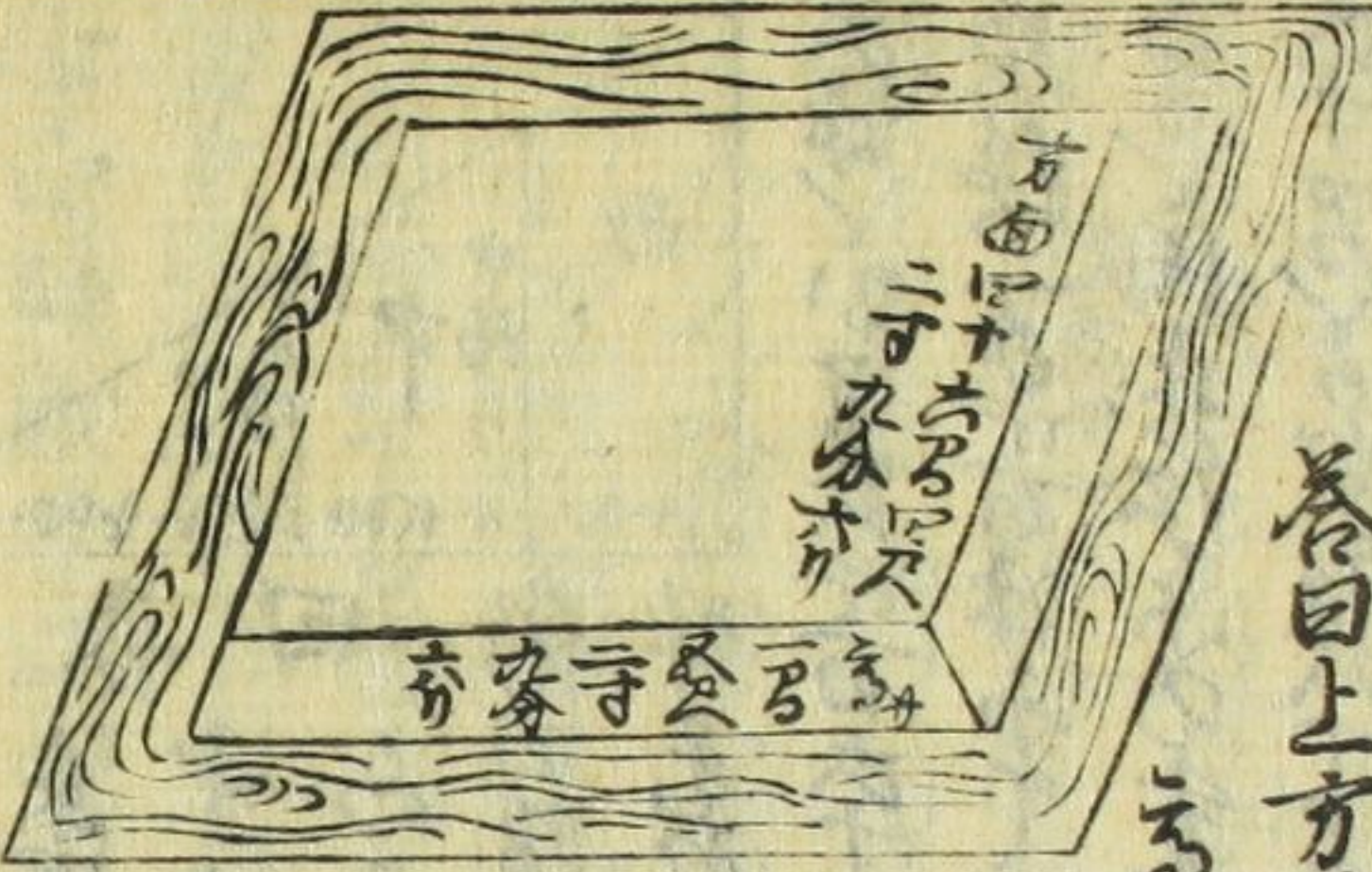
と内は約二千四百株
 答 東百四十方 小約二十三方
 中十六方 中約百十五方
 曰 約二十間
 内(東)股八十方と掛合六十方百
 株先は(東)方約は約七百廿
 六株と先は内(東)方六十方百六十方株と先は
 先は約二三百株中を割るは約九百二十方株と
 あり用平法(東)方百十方と先は先は約
 六十方と先は約八十方中を割るは約百二十方
 と先は約中格と先は約八十方掛合六十方
 百株と先は(東)方約は約と合千三百方株と
 あり先は約八百六十方株と先は約先は約二三百
 百株中を割るは約三千六百株と先は用平法六十
 間と先は内(東)方百十方と先は約中格と先は約
 あり約又六十方に約六十方と股八十間は
 約八十の中格百十五方と先は約約は約

先一人の持数八百株を分るは又百十二方と
 かの持股の株二千四百株を割る二百五
 三株二二三二二二と用平法(東)方百十六
 間一分八八〇三と先は約六十方とこの股半
 万中を割る内は約二十七方六二〇二と先
 又中と先は約二千百廿二株二二三二二二倍
 しく字子二百六十株六六六と先は用平
 法六十方三分一九七二と先は内(東)方百十
 六方一八八〇三と内は約中格九方一二一六九と
 あり又先は六十方二一九七二に約六十方掛
 股八十方に割る内の中格百十八方九九〇三
 と先は又股六十方内右の六十方二一九七
 二と内は約方と先は

股平石の内平石の内西二十間とあるなり
 第七十二 屋敷跡の事

○今六十石の字は屋敷あり覺れどく四り
 堀は堀は堀堀上より堀の下より二石堀
 写るにりり付い堀をとて中へ内之地形は
 つま上り付堀の能くうけて築てあるとたへ
 築てあるとより方面何れとて

春日上方面平六間字分九分六

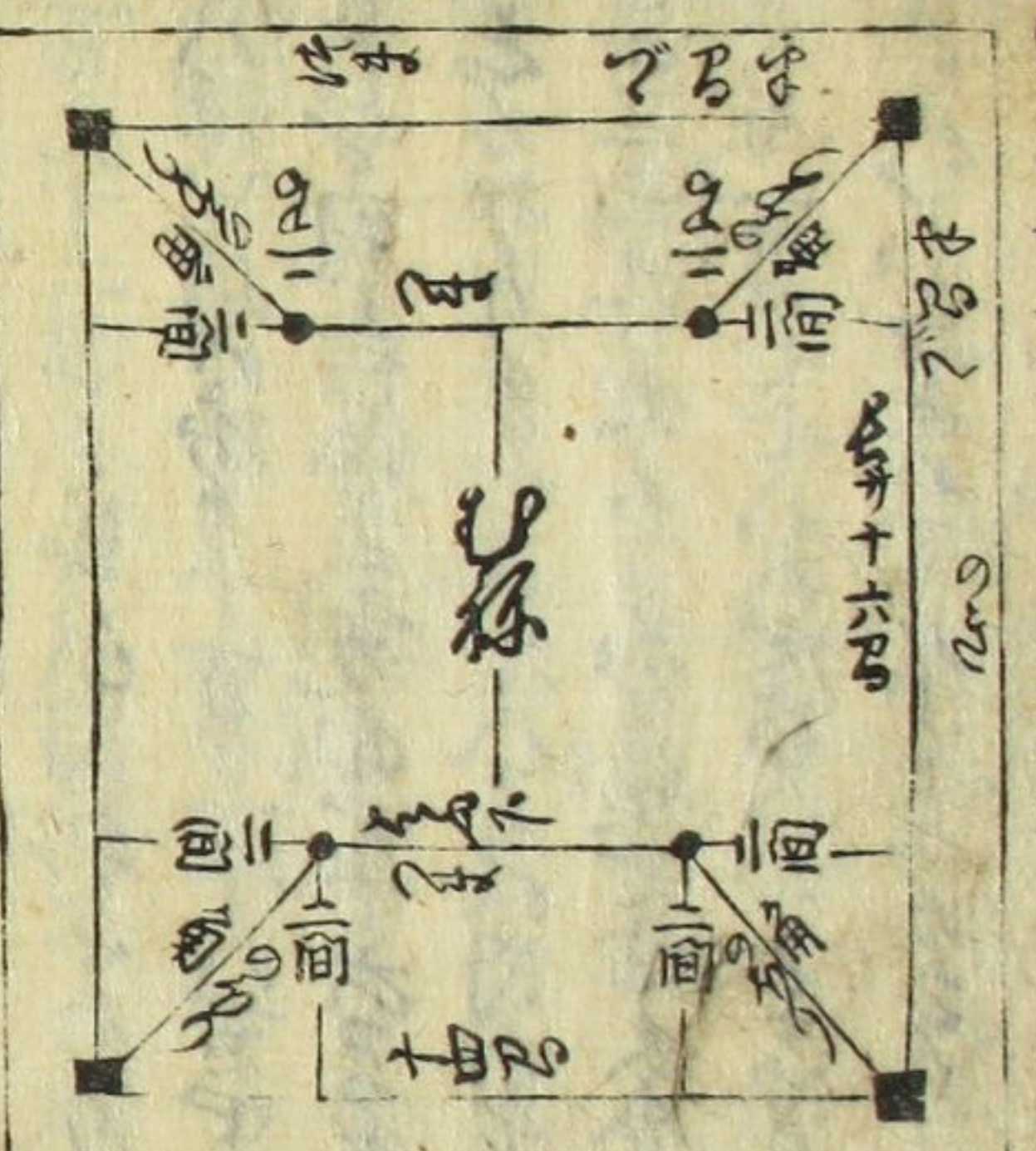


分九分六
 堀日堀の上堀は石の
 内下れり二石とあり
 二石あり堀は二石に刻
 能七分ありとあるなり
 堀六十石の内二石あり
 上下れり二石あり
 二石あり二石あり
 石の外れ方とあり
 十石とあり七十石とあり

堀は堀より二石あり一石二千六百九十二坪
 あり右小堀又二石あり 是の六十石の内堀は二石あり
 とあり十一石 是の六十石の内堀は二石あり
 と源は二石あり又方角の堀は二石あり
 時九千八百〇坪あり是程太の内一石二千六百
 九十二坪の内二石あり二石あり八千七百八坪あり
 堀の堀あり是は堀の堀は二石あり又能七
 分ありとあり二石あり八千七百八坪あり
 堀堀平十八石あり二石あり二石あり
 百九十二坪あり堀の内堀あり八千七百八坪あり
 八坪あり二石あり十石あり二千八百坪あり
 是と用は法上方面平六間とあり九一余と
 あり二石あり是と平十八石あり二石あり
 三三三九〇九あり是と能七寸五分あり
 あり一石七七八あり是とあり二石あり
 あり二石あり二石あり

第七十三 屋敷跡の事

○長十六百より十四百あるより四方二万



つれづれに
風厚七寸
又分て梅
乃志厚
三寸れ也
右分二分
かうい
とる付は

移轉何程あると

惣算極極二九倍。峰九分九七三三

答曰 棟積風折峰合七十二峰一分。六九又

角登り峰七峰九分七リ弱

右峰根峰積の先かういれ法よ心のびか
と又分二分かういれは二七三あり
先より水なりたお十あるは二五十六ある

九分。六八とがら先面方たお折也一とら
身積の百と又長十六百これ間あつても
引歩十二百む移の長せ先はたらあつても
かまは二百。二峰八八とがら別お通又つま
二万にあるよりまるとす二万まど先は
よかまは二百八七八とがら合七峰九分三
九九九六八とがら倍して二十峰七九八
七三六とがら別の四八と又より十百内
あつても引歩十間先破風下之先はあ
二万八七八とがら又二かまは又十六峰三
とがら又別の内八とより小二百九十。峰九
分九七三三六とがら身積極極峰又長
十六百九分。六八とがら倍して
七八の倍ね。引歩り十一百二七二
倍して移の身積七寸又分よの十六峰九分
。六八とがら別の内八と又長十六百あるより
二万とす十七百先はより十四百あるより

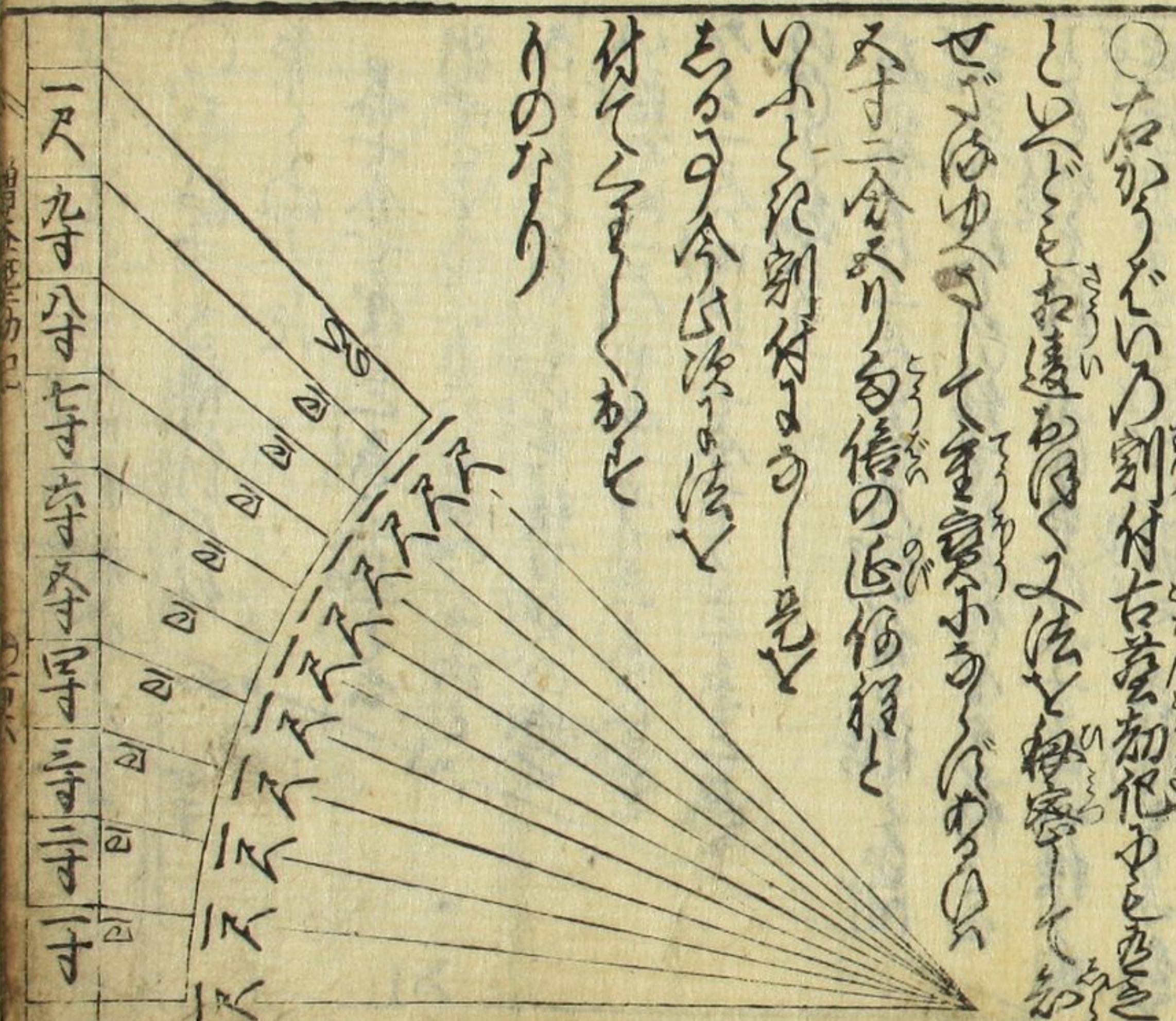
六百四十八粒と云ふは九厘と云ふは二寸
七百五十二粒と云ふは八厘と云ふは二寸
八百五十六粒と云ふは七厘と云ふは二寸
九百六十粒と云ふは六厘と云ふは二寸
千粒と云ふは五厘と云ふは二寸
千二百粒と云ふは四厘と云ふは二寸
千四百粒と云ふは三厘と云ふは二寸
千六百粒と云ふは二厘と云ふは二寸
千八百粒と云ふは一厘と云ふは二寸
二千粒と云ふは一分と云ふは二寸

第七十八 旬倍の割付

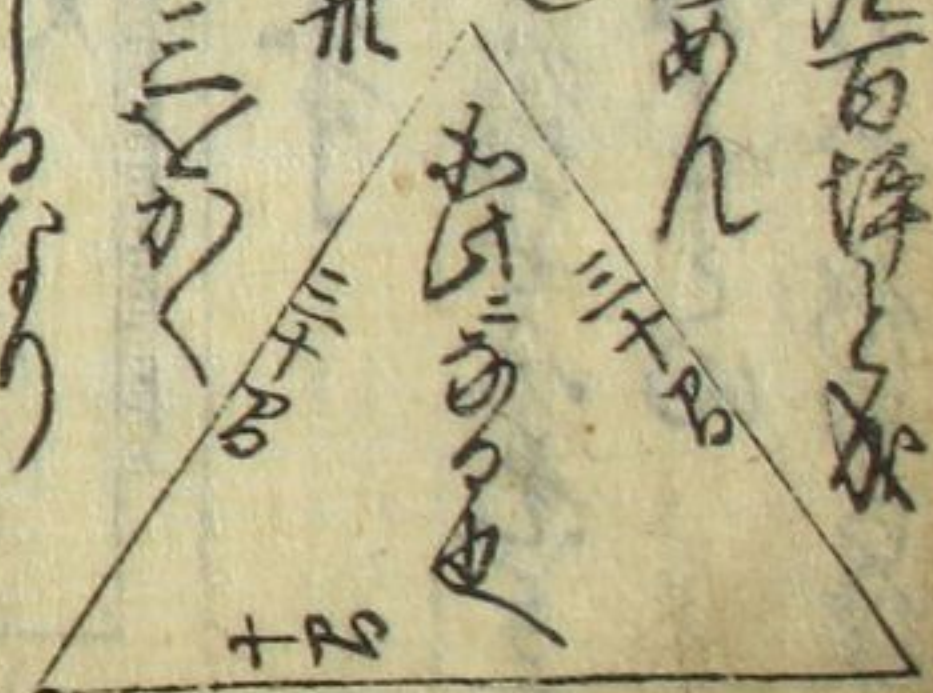
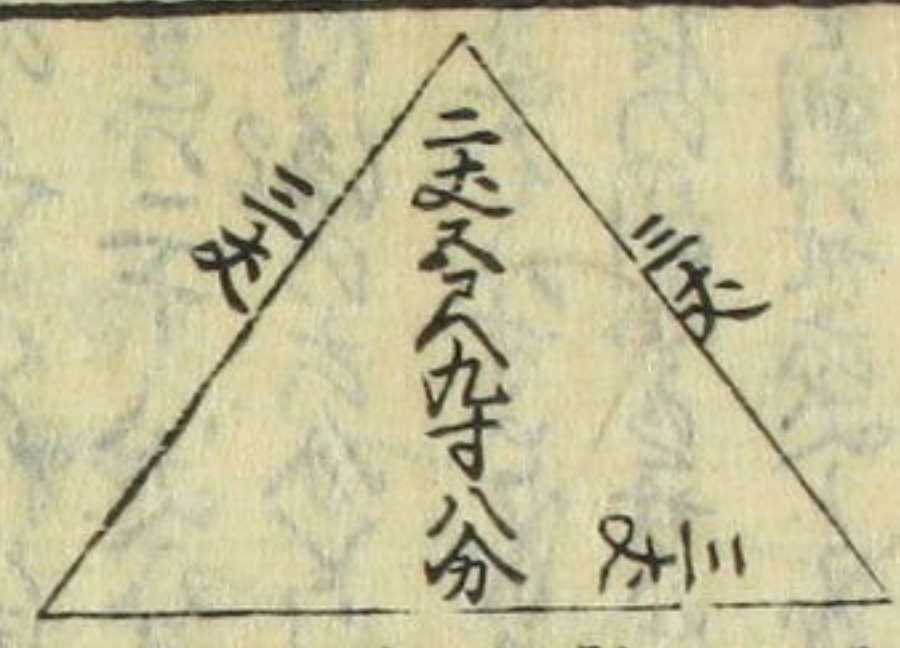
| | |
|--------|------------|
| 又分りていひ | 一厘二毛四系九忽 |
| 一寸 | 四厘九毛八系七忽 |
| 一寸五分 | 一分一厘八系 |
| 二寸 | 一分九厘八毛〇三忽 |
| 二寸五分 | 二分〇七毛七系 |
| 三寸 | 四分四厘〇三系 |
| 三寸五分 | 又分りていひ八系 |
| 四寸 | 七分七厘〇三系 |
| 四寸五分 | 九分六厘八毛八系 |
| 五寸 | 一寸一分八厘〇三系 |
| 五寸五分 | 一寸四分一厘二毛七系 |
| 六寸 | 一寸六分六厘二毛 |
| 六寸五分 | 一寸九分二厘六毛八系 |
| 七寸 | 一寸二分〇六毛八系 |
| 七寸五分 | 一寸五分 |

| | |
|------|------------|
| 八寸 | 二寸八分〇六毛二系 |
| 八寸五分 | 三寸一分二厘四毛四系 |
| 九寸 | 三寸四分六厘三毛六系 |
| 九寸五分 | 三寸七分九厘二毛二系 |
| 一尺 | 四寸一分四厘二毛一系 |

○右の如きいり割付古法初記中と云ふ
しとどきと云ふは遠くはく又法と稱して
せざるはゆゑとて重宝ふあはるゝ
又寸二分あり五倍の正何程と
いふと此割付より一先と
あるより今は法と
付てくまゝと
りのなり



〇面三丈五三二角中横線角平八何れを
 取らば 答曰 角より平八
 二丈五尺九寸八分ありと云
 法 八丈六寸二丈とわくまの法
 け三角すこりより平八二丈五
 尺九寸八分あり時先には二何れ
 取らばと云

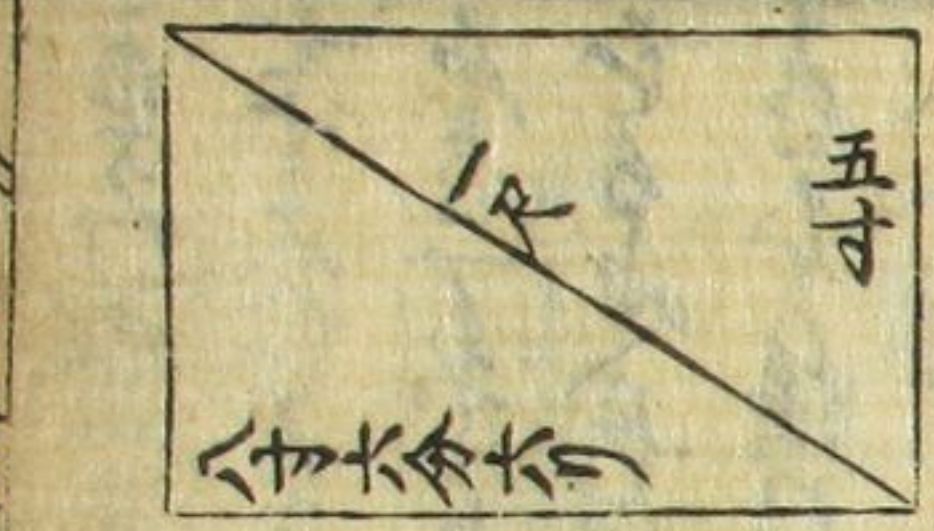
〇面三丈五三二角中横線角平八何れを
 取らば 答曰 角より平八
 二丈五尺九寸八分ありと云
 法 八丈六寸二丈とわくまの法
 け三角すこりより平八二丈五
 尺九寸八分あり時先には二何れ
 取らばと云

それとある處の合字三三と云ふは
 幸なり

第八十一 同起り乃事



〇三角の法三三三といふは面一
 尺の三角小寸坪三十二坪二分
 ありあり是と云ふは
 法求む三角は面一尺は内
 角より平八寸六分六厘あり
 是は面の一尺三寸小割く
 後三三四分寸とわくまの法
 三三三と云ふは



三角一尺は面一尺は内角より
 平八寸六分六厘ありと云ふは
 一尺とわくまの法
 三三三と云ふは
 法求む三角は面一尺は内
 角より平八寸六分六厘あり
 是は面の一尺三寸小割く
 後三三四分寸とわくまの法
 三三三と云ふは

垂の合廿又坪の先と右百坪で減る余り
 七十又坪の先と冪年とひき減り八寸六分六
 厘二刻と減り此二刻の拂て八寸六分六厘と
 なる也先はひき減り三三三の法をひき減り
 五寸八分八厘三三三あり

又二角すより平八寸六分六厘と減りひき
 減り七三三三の刻坪敷ありひき減り二角
 すより平八寸六分六厘と減りひき減りひき
 減り寸坪七寸九分六厘と減りひき減り三三三
 ひき減り七三三三と減りひき減りひき減り
 廿半二 六角の法なり

〇一寸四方の積六寸四方の積九寸四方の積
 六角の積七寸四方の積何程づにありと云
 昔の尺と云ふと云 新積敷の法は
 九八の刻の二寸四方の積と云ふと云
 以て除之則六角の面なるなり
 七六角の積敷積と云ふ面なるなり

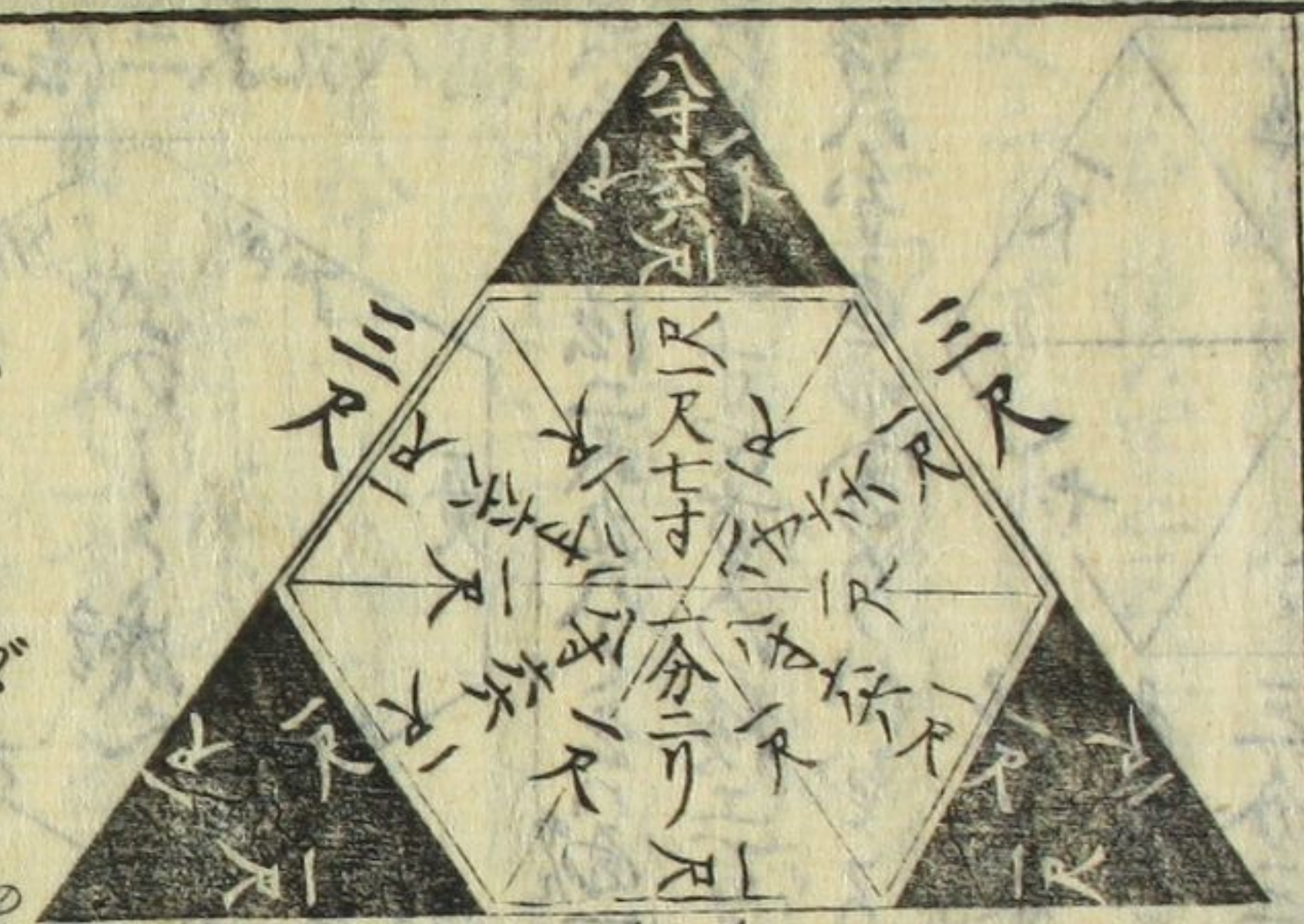
六角之法二又九八の面一尺の
 六角は一寸四方の積二百九十九
 坪八分五厘ありはひき減り
 法と求む六角の面二尺
 五寸八分五厘一尺七寸
 三分二厘五厘三三三あり
 刻の法中より八寸六分
 六厘五厘はひき減り八
 寸の刻はひき減り

守六分り
 四三三 一尺
 四三三 一尺
 四三三 一尺
 四三三 一尺
 四三三 一尺
 四三三 一尺

守六分り
 四三三 一尺
 四三三 一尺
 四三三 一尺
 四三三 一尺
 四三三 一尺
 四三三 一尺

四三三と云は是より六方と云は対二五九八と
ある是より法也なり

第八十三 六角之起の事

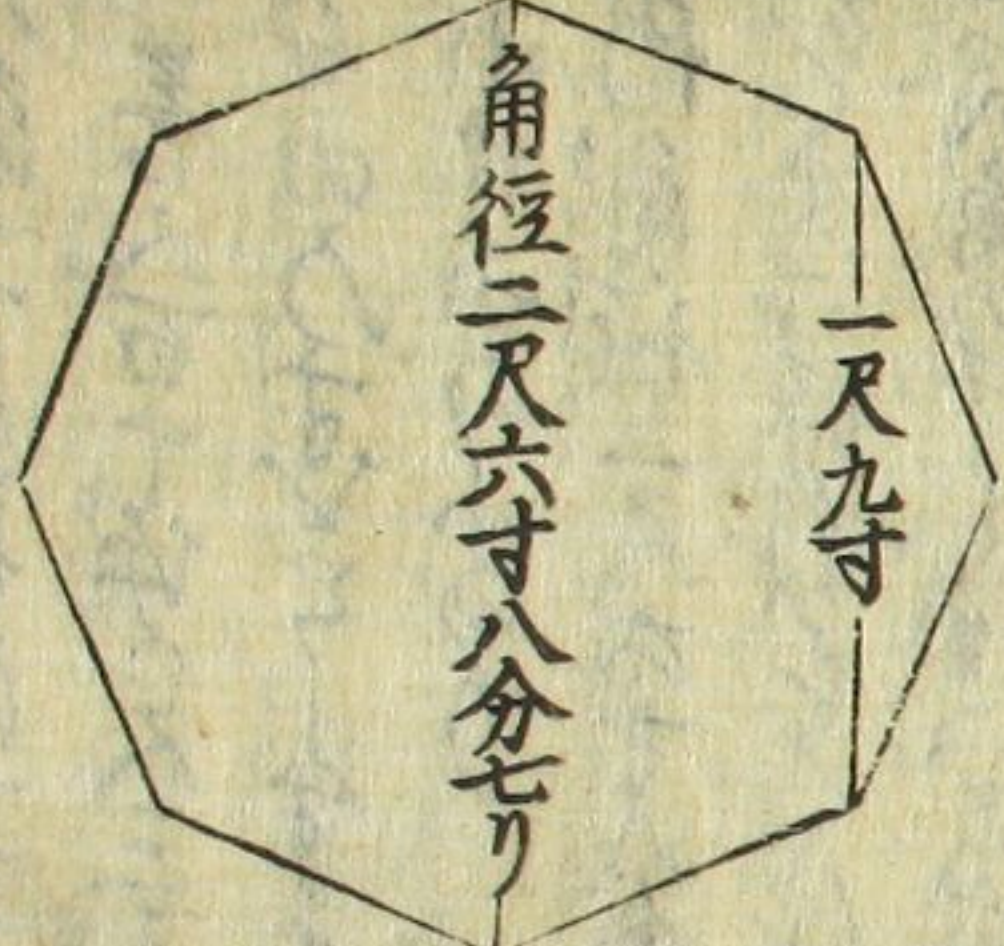


○六角の面一
尺の面より
のこ一尺七寸三
分二厘と云
くは是等と云
右六角の起の
面二尺の二角
より面一尺の
六角と云は対二
角は二寸と云
又面一尺の二角と云は対二角の
面は三尺の六角と云は対二角の
二尺の二角と云は対二角の
分は二尺の六角と云は対二角の

分二り是六角半と云は対二角の

但六角と云は対二角の

第八十四 八角之法の事



○一尺は方は積二百
九十一坪一分〇四と
八角より二方より面
何程と云は対二角
と云は対二角と云
積は積と云は対二角
二八と云は対二角
と云は対二角と云
除くは対二角と云
右八角の積は積と云
対二角と云は対二角
合算は対二角と云

是は三百九十一坪一分〇四と云はあり
又せらるは二の法は対二角と云はあり

八角坪積り

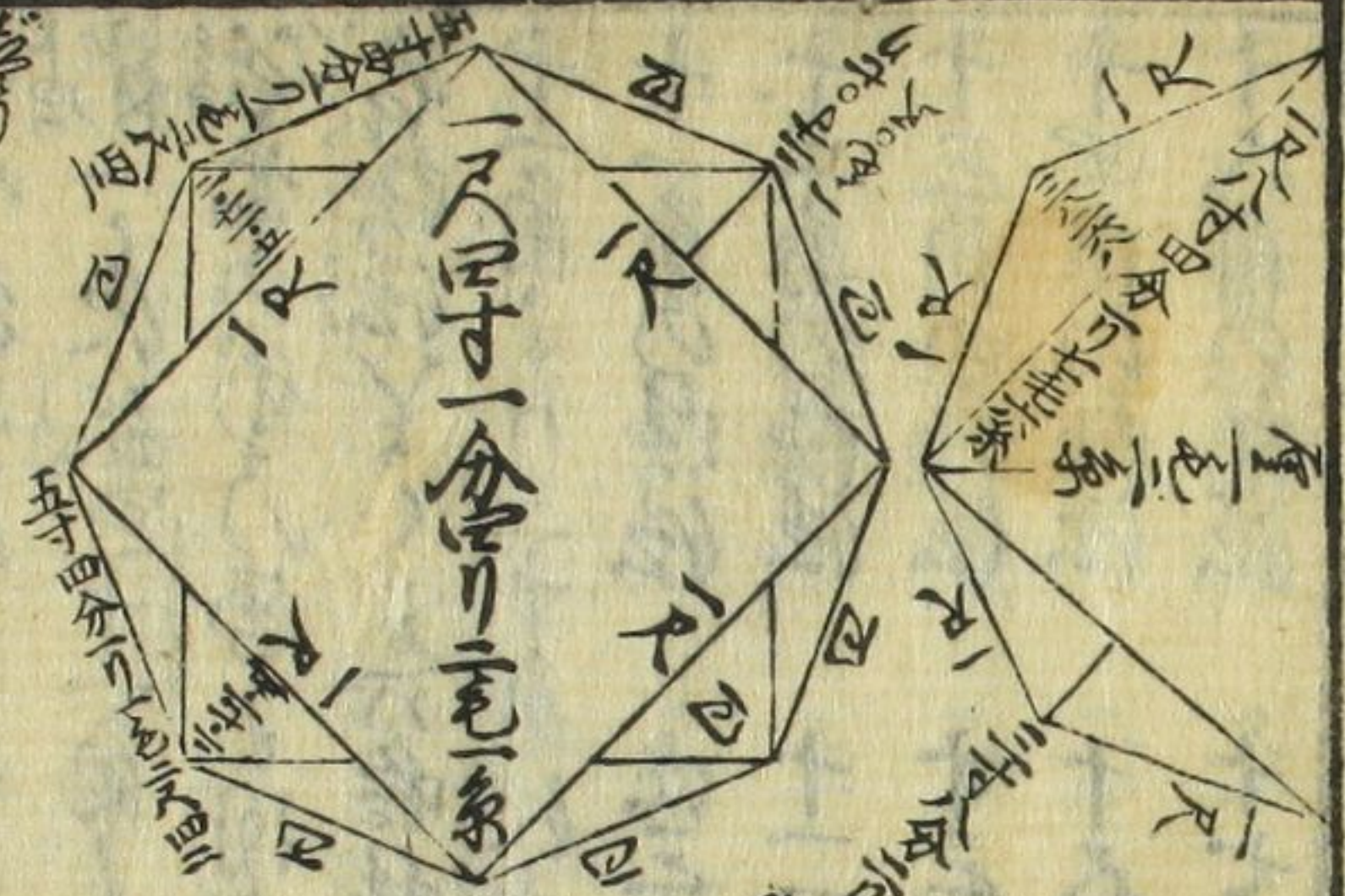
八角一つを是に一寸四方坪積むと云
昔八百十坪の又二五と云八角の坪積
を面より寸と寸すおひきて一と一と
小坪ありあり

右八角の寸は僅二尺六寸八分七厘あり
合二尺二寸二厘の割りと同坪と成定法也
又の寸を平の積り算して後三〇七二坪
と平積後あること 同面より二六三三二とく
是の角と角との僅ちなり

中八十五 八角之起り



| | |
|--------|------|
| 一尺一寸四分 | 二寸四分 |
| 一尺一寸四分 | 二寸四分 |
| 一尺一寸四分 | 二寸四分 |
| 一尺一寸四分 | 二寸四分 |



右八角と角の一尺
方北角のわりの
四寸一分四厘一系
先二より三寸七
一毛の又つは是と自

算して二尺八寸九厘八分二厘と云
割り寸自算して又又右の寸を
二尺八寸二厘は是の用平と云
又法也と附是と云
作りのありとも

中八十六 三角の積法
二二二〇二二七

と此是六考九の船あり又四考五の船あり
考八百目と右に並居七六九の考三百目
六百九格一又二分と此是四考九の船あり
二口合格考九百九格あるは分あり考二
六の考ありと入道は船格二考目と此
第八十九 口分六考九の法と事

○口分六考 是の考より上の考用
願と船格考目 五船九考二百目
口分六考目 口別四考三百二格目
六分又考目 口別四考六百八十目
法口分六考目とけ又外に六分は考目
わけて二口合分と考又別は船格考目
の内五船九考二百目と八百目と考あり
船目との六分考八百目と考一考ありと
ある是と右考小考別は二分と三分と考
三百二十目と又三百十目と考是と願の
内考して考別は考これ考あり

第九年 船と船と船と事

○穀類一五三考と船格考又船の格り
船目百五五の格り船格考七百二十文
右考十五又代船二格考五二重考も六二又
は船格考又船目と考船格考又船目と
法口分六八七五の考ありと考百五五の
是の考船格考又二り考も六二又考あり
は船格九十六又と右に並居考又考のお場と目
考に考りれ七二又と考又考ありと六十二
又法考小同案に之の考と又と小同別別
右の法口分六八七五と考是同案あり
船目百五五の考と考三文と考考考考
考考考考考考考考考考考考考考考考
十八又又考二百人考考七百二十又考あり
法口分六八七五の考ありと考考考考考考
考考考考考考考考考考考考考考考考
法口分六八七五と考考考考考考考考考考

